

国連総会

公式記録

A/70/1

第 70 会期

補遺 No.1

国連の活動に関する事務総長報告書

国際連合・ニューヨーク、2015

注

国際連合文書の記号は、数字が組み合わされた大文字で構成されている。そのような記号への言及は、国際連合文書への参照を意味している。

目次

章	頁
I. 序	4
II. 国連の活動	7
A. 持続的経済成長および持続可能な開発の促進	7
1. ミレニアム開発目標	7
2. 持続可能な開発	9
B. 国際の平和および安全の維持	14
1. 紛争予防および仲介	15
2. 民主的移行および選挙	19
3. 平和維持活動	21
4. 平和構築活動	23
C. アフリカの開発	24
D. 人権の促進および保護	25
E. 人道援助努力の効果的な調整	28
F. 司法および国際法の促進	29
G. 軍縮	31
H. 薬物統制、犯罪予防およびあらゆる形態および表現における国際的なテロリズムとの 関い	33
III. 国連の強化	37
IV. 結論	40
添付文書	
ミレニアム開発目標、目標および指針、2015：統計資料	略

第 I 章

序

1. 極めて大きな激動と変革の 70 年を通して戦争の廃墟から世界が、国連の創造者が想像した以上に変化したとしても、国際連合憲章にはっきりと述べられたビジョンは長きにわたって賞賛されてきた。このビジョン—全てのために平和、繁栄および尊厳の追求において「力を合わせる」という加盟国のビジョン—は、私たちの地球規模の活動を支え続けている。

2. 私たちが国際連合の 70 周年に注意を払う時、私たちはそれを大いに誇りに思う。世界は、20 世紀の前半で二度見られた世界的な規模の紛争を避けてきた。極めて数の多い規模の小さい戦争は、避けられたかまたは早くケリをつけられた。私たちは、何百万人を極度の貧困から救い出すこと、女性の地位と能力を向上させること、人権、国際法および凶悪な犯罪に対する司法を確保するための取組を先に進めること、並びに非植民地化の動きを先頭に立ってやること、により長期の平和の基礎を築くことにおいて大きく飛躍した。

3. しかしながら、このこと全てにもかかわらず、貧困から差別まで、昔からある問題が、続いている。不平等が、全ての社会において増えており、貧しい者の中の最も貧しい者は、遥か彼方に残されたままである。女性や女兒に対する衝撃的な暴力犯罪、特に性的暴力、が戦争の手段となっている紛争状況において、続いている。気候変動の新しい脅威が、その影響の潜在的な激しさをわずかに示し始めてきた。ますますペースの早いまた相互に結びついた世界では、問題はより複雑になっている。機会はたくさんあるが危険はより多くまた広まりやすい。最も緊急の懸念と問題は今までになく私たちみんなに対して非常に一般的になった。国際連合に対する必要性は今までになく大きくなっている。加盟国は、今までになく、「私たちの力を合わせる」という国連憲章の呼びかけに注意を払う多くの理由がある。

4. 過去 1 年の間、多くの人々が、第二次世界大戦以降のどんな時よりも多く退去させられた。絶望的な移住者は、結局途中で死、差別およびより大きな絶望を味わう結果となる、飢餓、迫害および暴力から逃れるためにあらゆることを覚悟のうえでやった。紛争と危機は、アフガニスタン、中央アフリカ共和国、ダルフル、コンゴ民主共和国、ガザ、リビア、イラク、マリ、ソマリア、南

スーダン、シリア・アラブ共和国、ウクライナおよびイエメンの何百万の人々を巻き込んだ。何百万人もが、ボコ・ハラム、アル・シャバーブおよびダーシュ／イラクおよびレバントのイスラム国（ISIL）のような暴力的な過激主義者の厳しい戦術に直面した。それと同時に、多くの外国人戦闘員が、彼らの主張に参加するのに十分なそのようなグループからの魅力的なメッセージを見つけていた。環境的な悪化、汚染や資源の枯渇が、世界中でほとんど弱まらないまま続いている。長らく停滞していた軍縮の重要な政策課題についての進展はほとんどなかった。数え切れない人々が、治せる病気で死に、空腹のまま床に就き、基本的な保健医療で救うことができたであろう子どもを埋葬し、そして多くの他の方法で、避けることのできる、受け入れがたいレベルの剥奪、恐怖および絶望状態に苦しんでいる。

5. 世界中の人々が、これらの問題の予防や対応の指導力について自らの政府や国際連合を当てにしている。将来を見ると、私たちは世界をより良いコースにのせるための機会を幾つも持っている。私たちは、貧困を終わらせ、気候変動を統制のもとに置き、そして新しい開発アジェンダの資金を調達しまた実施するための共通のアプローチに合意する機会をもっている。

6. 過去1年間に既に私たちはこの相互に結びついた目的に向けた著しい進展を果たしてきた。気候変動に関する政治的な勢いは、ニューヨークで2014年9月に私が主催した気候サミットによりまた12月のリマにおける気候変動に関する国際連合枠組条約の第20回締約国会議により大きく加速された。持続可能な開発目標を鼓舞する仲間は、次の世代のための私たちの活動を指導することを提案してきた。そしてこれらの計画の資金調達のための包括的な枠組が、開発のための資金調達に関する第三回国際会議で採択された。平和活動および平和構築に関するパネルは、国際連合が将来の安全上の課題により効果的に対応できる方法について重要な報告書を作りだした。私の人権アップフロント活動は、早期の段階で人権および国際人道法の重大な侵害を特定しまた対処する私たちの取組を高めるために考案された。私は、核兵器とその他の全ての大量破壊兵器のない中東地帯を設立することに向けて貢献すると私が希望する、五大国プラスワングループとイラン・イスラム共和国との間の最近の包括的な合意を歓迎する。

7. 最後に、私たちは、国連を真に地球規模にするためにそして効果的且つ効率的に任務を果たす私たちの能力を最大化するために考案された数多くの主要な革新的な活動について進展を果たし

てきた。

8. これからの年に期待して、私は、私たちは直ぐに、持続可能な開発に対する新しい展望、平和および安全の維持についての新しい方向、更新された人権の容認、そして生活に対する私たちの目標をもたらすのに役立つより強力な国際連合に達するであろうと、楽観的である。

第Ⅱ章

国連の活動

A. 持続的経済成長および持続可能な開発の促進

1. ミレニアム開発目標

9. ミレニアム開発目標の経験は、進展を測定するための対象を特定した目標と結びついた、行動を刺激するための明確で共通の展望の価値を示してきた。私たちは、ものすごい進展を成し遂げてきた。幾つかの目標は達成された（添付資料参照）。世界的な極貧率は、半減しそして減り続けている。以前よりも多くの子どもたちが、小学校に通っている。子どもの死は、劇的に下がった。約260万人の人々が、改善された飲料水源へのアクセスを手に入れた。マラリア、HIV/AIDS および結核との闘いにおける対象を特定した投資が、数百万人を救った。世界的な協定に合った一貫した国の政策が、非感染性と深刻な疾病両方と闘うことに進展をもたらした。

10. しかしながら、母親のまた生殖に関する健康を改善すること、ジェンダー平等を達成すること、特に女性と若者のための完全なまた生産的な雇用を達成すること、憂慮すべき世界的な森林伐採率を食い止めること、そして後発開発途上国の進展を全面的に加速することを含む、かなりの格差が残ったままである。多くの事例においては、これらの遅れは、相互に強化し合ってきている。例えば、ジェンダー平等と女性の地位と能力の向上は、貧困、飢餓および疾病を克服するための前提条件であるが、目標3に向けた進展は、多くの場で遅れている。森林伐採は、温室効果ガスの排出と気候変動を悪化させ、そして森林資源は、特に農村部の貧者にとって、貧困削減、食糧の安全保障や富みの配分に貢献しているので、他の目標の達成を損なっている。地域的なまた国の平均を測ることは、地域や国を越えたまた地域内や国家間の大きな相違を隠すことができる。多くの分野における進歩は、しばしば貧者や最も脆弱な者を回避する。金持ちと貧者、農村地区と都市部の間の執拗ないやむしろ増えている不平等を除去するために、そしてジェンダーの、年齢の、障がいの、種族的なまたは地理的な所在地により不利な者、また女性や女兒のような差別の多様なまた増えつつある形態を経験している者の条件を改善するために、政策や施策は必要とされる。

11. 加盟国は、開発および持続可能な開発目標のための資金調達に関する交渉を通して、これらの問題に対処している。更に、あらゆる型の森林や森林に関する世界的な目標に関する法的拘束力のない文書が、2014 年 9 月に開催された先住民族に関する第一回世界会議の成果文書、および生物多様性に関する愛知目標は当然として、実施されなければならない。ジェンダー平等に向けた進展を加速するため、緊急行動が、北京行動計画の 20 周年再検討期間中加盟国により合意された六つの優先分野において必要である。10 年後に、加盟国は、連結性のための 10 の目標とその中心的なビジョン、すなわち人々中心、包括的で開発志向の情報社会、の実施を監視するための情報社会に関する世界サミットで採択された 18 の行動線の実施を再検討する。

12. より大胆なまたより対象を絞った行動が、後発発展途上国における進展を加速するためにも必要である。実行可能性の研究に関する専門家のハイレベルパネルにより勧告された場合には、後発発展途上国のためのテクノロジー・バンクは、総会の第 70 会期期間中に運用開始されるであろう。2016 年 6 月にトルコで開催されることになっている、後発発展途上国のためのイスタンブール行動計画の実施の包括的なハイレベル中間再検討は、後発発展途上国における構造的な変革と迅速な貧困削減のための地球規模のパートナーシップを強化する重要な機会を提供するであろう。多くの後発発展途上国は、外部および公的融資の主要な源として政府開発援助（ODA）にまだ大きく頼っており、全体的な流れは安定している一方で、最も貧しい国々に対する流れは、まだ落ちており、これらの国々の中の配分は、一様でなくまた効果は、予想したように、常に成功しているわけではない。経済協力開発機構の開発援助委員会の 29 か国の中の 5 か国だけが、国民所得の 0.7 パーセントという国際連合 ODA 目標を叶えており、その一方で、9 か国が、後発発展途上国に対する ODA として国民所得の 0.15 パーセント以上を提供するという目標の下限を叶えている。

13. 発展途上国の輸出に対して先進国が適用する平均の関税率は、特に低下しているが、最高の関税率と関税率の拡大は、先進国市場に対する途上国のアクセスを妨げ続けている。重債務貧困国（HIPC）イニシアティブと多国間債務救済イニシアティブの下での債務救済にもかかわらず、幾つかの HIPC 諸国は、ハイレベルの債務の苦悩に、再び無理なく近づいており、幾つかの小さな国家は、著しい債務の持続可能な課題に直面し、また幾つかの先進国もまた深刻な債務超過に直面している。幾つかの低中所得諸国が、初めて国際的な資本市場にアクセスを始めたのと同時に、金利が世界的に上昇した時、これらの諸国の幾つかは、新しい危機という危険な目に合うおそれがあり、

自国の借金を借り換えることができなくなるであろう。

14. ミレニアム開発目標に向けた進展を監視することは、平等な資料の提供を可能にする統計制度の強化をもたらした。しかしながら、データ・ギャップ、資料の質の問題、方法論的基準の遵守、年齢、性別およびその他の社会的な範疇で進展の監視を可能にする構成要素に分けられた資料の欠如、そして地理空間情報の欠如が、主要な課題となってきた。相当な取組と投資が、2030 年までの新しい持続可能な開発アジェンダを支援するため、内容の充実した資料や情報通信技術の社会資本を構築するために必要となるであろう。

15. 内陸開発途上国は、重要な課題に直面し続けてきているが、それにもかかわらず、ミレニアム開発目標の達成に向けた、特に極度の貧困で生活している人の割合を削減することにおいて、確実な進展を果たしてきている。2014 年 11 月に内陸開発途上国に関する第二回国際連合会議で採択された、2014 年－2024 年の 10 年間のためのウィーン行動計画は、特別な開発の必要性和周りを陸地に囲まれていること、遠いことそして地理的な制約から生じる課題に対処することを目的としている。

16. 小島嶼開発途上国もまた、海面上昇や極端な気候現象の増加している頻度や激しさなど、外因性の衝撃と気候変動の影響に極端に脆弱であることに対し、最も保護されないものの中にあり続けている。2014 年 9 月に、小島嶼開発途上国に関する第三回国際会議は、SIDS 行動モダリティ推進（SAMOA）の道を採用した。2014 年が小島嶼開発途上国の国際年なので、一年を通して多くの意識向上やその他の活動が実施された。

2. 持続可能な開発

17. 2015 年という年は、世界を持続可能な開発の道に載せる前例のない機会を与える。貧困を削減すること、人々の生活を改善することを究極的に目的にしている、ポスト 2015 開発と気候変動の過程並びに低炭素で気候変動に強い経済への迅速な移行は、相互に強化し合っている。共に行動する場合、それは現在および未来の世代に対して繁栄と安全を提供することができる。

18. この新しいアジェンダは、既存のまた生じつつある課題の両方に対処することを目的としている。増えつつある地球規模の不平等、自然災害に晒されることが増えていること、急速な都市化、移民の新しいパターン、そしてあるものによるエネルギーと天然資源の過剰消費は、地球全体の規模の影響で危険なレベルまで大災害のリスクを駆り立てて脅かしている。大災害による1年間の経済的損失は、平均して2,500–3,000億ドルと見積もられている。2015年3月の第三回国際連合世界防災会議で採択された野心的な仙台防災枠組2015-2030で強調されたように、防災に投資することは、生命を守ることと同時に大きな見返りが得られる。

19. ミレニアム開発目標と他の国際的に合意された約束の経験から学んだ教訓に頼りまた拡大することにより、ポスト2015開発アジェンダは、貧困削減と社会的、経済的および環境的な次元での持続可能な開発の追求において、次の15年およびその後の、開発取組を計画することになる。それは、完全に自然と調和して、人々の生活を改善しそしてその人権を実現するためのアジェンダとなることになる。新たな出発において、全ての諸国のための国のそして地球規模の責任を必要としている普遍的なアジェンダとなることになる。それぞれのまた全ての国は、このアジェンダを実施することについて、自国民に向けたまた国際社会に向けた責任を有することになる。監視および再検討を含む、ポスト2015アジェンダの実施における全ての利害関係者を含むことは、全てのレベルでの主体的取組を確実にするために非常に重要なことである。

20. 持続可能な開発目標に関する総会のオープン作業部会により提案された17の持続可能な開発目標および策定された169の具体的目標は、ポスト2015開発アジェンダの中心となることになる。それは野心的である。それは、社会を変革しそして人々と諸国を動くようにする可能性がある。それは、ミレニアム開発目標の未完成の事業を統合しそして不平等、新しい課題や気候変動、持続可能な経済成長、生産能力、平和および安全そして全てのレベルでの効果的な、責任有るそして包括的な諸機関などの構造問題に対処することにより未完成の事業を越えて行く。それは、ジェンダー平等を達成することに対する率先したアプローチをとる。それは、均整のとれたやり方で、持続可能な開発の経済的、社会的および環境的局面を捉える。それはまた、人々および地球のための国際的な開発に対する真に統合されたアプローチのために政府、市民社会およびその他の関係者を呼び集めつつ、それぞれの具体的な目標の下でまた地球規模のパートナーシップに関する一つの独立型の目標における実施方法を詳細に説明する。

21. アジェンダの推敲は、政府および非国家主体が関与してきた。オープン作業グループは、対象を特定したまた野心的な成果を生み出した。それは、席を共用している加盟国の小さなグループと共に、新しい活動方法を巧みに作った。私は、新しい着想とアプローチを試みる加盟国の側のこの意欲を歓迎する。それはまた、前例のない数の利害関係者が関与している、最も包括的でまた過程の「ボトム・アップ」でもあった。これらの議論は、持続可能な開発のための地球規模の開催機関としての国際連合の重要性を確認した。ミレニアム開発目標からの教訓を引き出すというその最近の主要テーマを通してまたミレニアム開発目標から持続可能な開発目標への移行を管理することで、経済社会理事会の 2014 年と 2015 年のサイクルは、普遍的なポスト 2015 開発アジェンダへの変革を起こす転換における実質的な政策指針を通して加盟国を支援してきた。経済社会理事会の後援の下で、この過去 1 年で再び会合したハイレベルの政治フォーラムは、新しい普遍的で変化を起こすアジェンダの潜在的な重要性を、そしてポスト 2015 開発アジェンダを再検討したフォローアップするフォーラムの役割を通してものを含んで、その実施と追跡の過程を確実にする最善の方法を、熟考した。「雇用創出と全ての者にとっての働きがいのある仕事を通して持続可能な開発を達成すること」というテーマに焦点を絞った統合部分は、政策統合のための考えを生み出すことにおいても役立った。これは、経済社会理事会の新しい主要な特徴となるであろう。この積極的な基礎に基づいて、私は、ポスト 2015 開発アジェンダに関する政府間交渉は、2015 年 9 月の国際連合本部でのサミットで採択されることになる、内容の充実したそして普遍的なアジェンダを生み出すつもりである。

22. ポスト 2015 開発アジェンダの実施は、提案された目標および具体的目標に定められたように、サービスの提供に関する増える要求に応えるために自国の応答と責任を強化することにより公的機関を強化する全ての政府による更新された取組を要求することになる。政府は、それ故、全ての国民、特に女性と女兒並びに疎外された集団のサービスと利益のための公的資源の効率的且つ効果的な使用を確保するため、全てのレベルでの、効果的な、責任有る、参加型のそして透明な諸機関を導入した策定する準備をしなければならない。

23. 実現するために、これらの目標は、開発、技術促進および能力構築のための資金調達に関する平等な意欲的な合意によりまた普遍的で野心的な気候変動合意により調和させられなければなら

ない。新しい方法は、財政的資源および情報通信技術のような他の実施手段をより効果的に動員しまた割り当てるために見出されなければならない。これらの経過について進展を共になすことだけで、私たちが人類のためにより良い未来を達成することができる。

24. 7月13日に、私は国家元首およびその他の政府高官、国際機構の長、実業界の指導者、非政府組織並びに顕著な学界と共に第三回開発資金会議に参加した。そしてそこで加盟国は、成果文書としてアディスアベバ行動目標を採択した。行動目標は、持続可能な開発目標を含むポスト 2015 開発アジェンダの実施を支援するため強力な基金を設立した。それは持続可能な開発の資金調達のための新しい地球規模の枠組を提供している。それは、世界的な必要性の分野に向けた投資における転換の動機を与え、そして全ての資金調達の流れと政策を経済的、社会的および環境的優先事項と合わせる、政策目標を含んでいる。それは、公的、私的のあらゆる資源、国内および国際的な金融、貿易、債務、組織的な問題、科学、技術、技術革新および能力構築に関連する 100 以上の具体的な措置のパッケージで、加盟国による政策行動の包括的なセットに関する合意を含んでいる。行動目標はまた、民間部門、市民社会および慈善組織による行動のための指針としても役立つ。向こう数か月で開始されることになっている新しい活動に加えて、会議の本来の目的から外れて発表された成果物が、私たちの地球規模の目標を達成することに更に貢献するであろう。一緒に、それらは、持続可能な開発のための活性化されそして強化された地球規模のパートナーシップを支援すべきである。行動目標はまた、開発過程のための資金調達のための資料、監視およびフォローアップを強化する。それは、政府間で合意された結論とハイレベルの政治フォーラムに繰り入れる勧告と共に、経済社会理事会の一部として年一回の開発のための資金調達フォーラムを設立した。

25. 国際連合開発制度の長期のポジショニングに関する経済社会理事会における対話の期間中、政府は、国際連合制度が、ポスト 2015 開発アジェンダ実施中に直面するであろう新しくまた生じつつある課題に対応することにおける一貫した対処方法を確実にすることを求めた。対話は、機能、資金調達、統治、組織的取極、能力、影響およびパートナーシップの対象方法の間の相関関係を分析しそして国際連合開発制度を新しい目標を果たすために適合させるための更なる分析と行動のための考えを探究した。

26. 新しい持続可能な開発目標に加えて、加盟国は、2015 年 12 月にパリで意味ある、普遍的な気

候変動に関する合意を完了させる歴史的な機会を持つ。そうすることにより、私たちは、現在および未来の世代のためのより安全で、より健康で、より公平な世界を築くことになる。そのためにも、2014年9月23日に私が主催した気候サミットは、強い政治的勢いを創り出しそして排出を減らし強靱性を強めるための解決策を前進させた。サミットでは、100人以上の国家元首や政府の長そして金融、実業界および市民社会からの800人の指導者が、森林、エネルギー、輸送、都市およびその他の主要な問題に関する重要な新しい行動を発表した。公的および私的部門の指導者は、低炭素、気候変動に強い成長に融資するために2015年末までに気候変動財源に2,000億ドル以上を動員することを誓約した。

27. 政府は、気候変動パートナーシップを拡大するリマ・パリ行動アジェンダを始め、そして緑の気候基金に当初出資する100億ドルを誓約した、2014年のリマで開催された気候変動に関する枠組条約の締約国会議で重要な進展を果たした。今やこの仕事は、事業が承認されることそしてそれが最も必要とされる所に可能な限り速く基金が支払われることを確保することである。

28. ジェンダーに関するリマ作業計画もまた、特に、気候変動のジェンダーの局面に対処する認識と能力を増やすこと、女性の参加を改善することそして気候変動の政策と措置がジェンダーに直ぐに反応することを確保することを目的として、採択された。

29. しかしながら、幾つかの場では、進展がまだ必要である。気候変動の資金調達、行動のきっかけをつくることや政治的な信頼を築くことにとって極めて重要である。先進諸国は、コペンハーゲンで2009年に発表した2020年までに年当たり1,000億ドルという目標を達成するために政治的に信頼に足る軌道を定義しなければならない。適応と回復力の取組は、特に小島嶼開発途上国や後発開発途上国で、強化されまた支援されなければならない。全ての諸国は、いかにポスト2020年の期間における気候変動に対処するかを詳しく述べる野心的な自国の貢献を提出すべきである。

30. 行動は、地方から地球規模まで、すべてのレベルで、加速されなければならない。私たちは、浪費する時間はなく、低炭素の道へ急いで移動することにより得るものが多くなる。全ての諸国は、私たちが、2℃の世界的气温上昇の許容範囲の範囲内に止まるならば、解決策の部分とならなければならない。共に活動することで、私たちは、貧困と不平等を減らし、持続可能な成長を強化し、

公衆衛生を改善しそして持続可能な開発を促進するため気候変動の課題を強力な機会に変えることができる。

B. 国際の平和および安全の維持

31. 過去1年間私たちは、国際の平和および安全に対する複合的な、相互に結びついた脅威にますます直面した。あるものは新しかった。その他のものは、激しくなったかまたはより悪意のある形態を帯びた長期にわたる脅威だった。過激主義者の集団は、何百万の人々を威嚇しまた虐待すると同時に、中東および西アフリカの領土の広い部分とかなりの収入源を獲得した。紛争は、ますます国家を越えてきた。加盟国間の緊張は、ある地域で高まった。安全保障理事会の重要議題は、テロリズムと暴力的な過激主義についての懸念が最も大きな部分を占めた。世界中に展開している 37 の国際連合平和活動は、許容できない環境にますます適合しなけりばならなかった。その一方で、エボラ出血熱の発生は、保健の非常事態により与えられた安全上のリスクの可能性について深刻な懸念を提起した。

32. この徐々に発展している安全上の環境は、国際連合要員と活動に深刻なリスクをもたらした。過去1年以上、自爆や簡易爆発装置の使用など、型破りな戦術の使用に関係した幾つかの直接攻撃があった。2014年11月に、国際連合の輸送隊は、爆弾を積んだ車両を運転した自爆者により標的とされた。ソマリアでは、2015年4月20日に、4名の UNICEF 要員が、国際連合車両に対する自爆攻撃で殺害された。2014年9月1日から2015年5月31日まで、マリで32名の制服組の国際連合平和維持要員が殺害された。世界中のそのような要員の総犠牲者73名のほぼ半分の割合を占めている。イエメンで一人の UNICEF 職員が、拉致されそして2014年11月8日に解放されるまで399日の間囚われの身のままであった。治安状況は、とりわけ許容できない環境において、その職務権限を実施する私たちの平和活動の能力に過剰な影響を与えている。

33. 安全上の条件におけるこれらの変化の真つ最中に、平和活動の再検討を実行するため私が任命したハイレベル独立パネルは、国際連合活動が目的のために適したままでいることを確保するための多くの重要な勧告を与えた。この再検討は、加盟国との広範囲にわたる協議、それは政府間プロセスを通して審議されることになる平和構築構造再検討、そして安全保障理事会決議1325(2000)

の実施に関する世界的な研究並びに平和活動における技術革新に関する早期の専門家パネル、に
与した他の重要な活動と共に遂行され、その報告書は 2015 年 2 月に発表された。それに頼りつつ、
私の国際連合平和活動に関する来るべき報告書は、今後何年かの平和活動における改革のために重
要な議題となると私が信じるものそしてハイレベル独立パネルの主要な勧告を私たちが効果的に
実施する方法を定めることになる。

34. これらの新しい課題に国際連合が取り組むと同時に、私たちは、長期にわたる脅威と紛争につ
いて最後までやり遂げるため、世界中での私たちの静かな予防外交を続けるためそして生じつつあ
る脅威に用心深く取り組むため努力した。

1. 紛争予防および仲介

35. この重要な状況を守ることに於いて、紛争予防と仲介における私たちの取組は、かなりの課題
に直面した。セクト間闘争への中央アフリカ共和国の転落およびその後の平和維持部隊の設立の後
で、中央アフリカ担当事務総長特別代表と中央アフリカ共和国担当事務総長特別代表の周旋を通し
たものを含んで、国連は、元戦闘員の武装解除、動員解除および社会復帰を含む、和平と和解を追
求し、国家権力の届く範囲を拡大しそしてついに自由で、公正でそして透明な選挙となる政治過程
を促進することに、焦点を絞ってきた。この過程は、ついに平和のための協定、国民和解と再建お
よび武装解除、動員解除および社会復帰に関する暫定合意に合意した、地方の協議の開催とバン
ギ・フォーラムに首尾良く実を結んだ。

36. 過去 1 年間リビアは、2011 年革命以来、武力紛争の最も重大な発生と一緒に、著しい政治上
のまた治安上の危機を示してきた。政治的分裂と戦いが、著しい文民の犠牲者と立ち退き、並びに
深刻な社会的および経済的損害をもたらしてきた。国連は、交渉による政治的解決を促進する国際
的取組の最前線にいた。私の特別代表は、リビアの関係者、国際社会および主要な地域的な関係者
の中の広範な支援に恵まれた、同時に幾系統もの対話を行う過程を促進した。状況は依然として扱
いにくいままであるけれども、国際連合は、国民合意の政府の形成が、現在の危機を解決しそして
テロリズムを含む同国が直面している多くの重大な問題に向き合うためにリビアにとって最善の
方法であると強く信じている。

37. シリア・アラブ共和国の紛争は依然として、5年目に入る私たちの共同の良心の汚点のままである。それは、22万人以上の死を今やもたらしており、そして500万人以上の子どもを含む、1,200万人以上の人々が、依然として人道援助を必要としたままである。国連は、2012年のジュネーブコミュニケに基づく政治的解決を促進し続けている。中東においては、イスラエルとガザの武装民兵との間の6年間の3番目の戦争が、2014年8月26日に終わった。その期間中、2,200人以上のパレスチナ人と70人のイスラエル人が殺された。私は、関連する全ての利害関係者と共に、暴力を停止させるため親しく活動しそして、直後の時期に、死者や負傷者が、ガザの国際連合の建物で生じたかあるいはそれに被害が生じた出来事若しくは兵器類の存在がそれらの建物で報告された出来事を検討する、調査委員会を設立した。パレスチナ内の和解に関する進展およびイスラエルとパレスチナとの間のより強力な停戦協定がないので、ガザにおける状況は依然として不安定なままである。国際連合が仲介した制度により促進された、再建の取組は、十分な資金提供を受けていなかった。和平プロセスは、凍結されたままであり、イスラエルとパレスチナは、逆効果の鼓動や逆作用のサイクルで動かなくなっていた。

38. 東部ウクライナにおける紛争は、地域にそして国際の平和および安全にすら課題を与えて、同国を荒廃させ続けている。私は、平和的解決に向けた私の十分な支援を申し出続けている。私はまた、60年以上の断続した紛争の後で、政府と主要な武装民族集団との間の全国的な停戦に関する合意と政治的対話を通して永続的な平和を成し遂げるミャンマーを支援するため利用可能な周旋を行った。その一方で、2014年に、国際連合は、30年で初めての、ミャンマーの全国的な人口および住宅調査に対して支援を提供した。ミャンマーが、改革と民主化で前進しているので、特にラカイン州の、現行の共同社会間の対立は、同国の指導者に主要な責任がある。国際連合は、ロヒンギヤの公民としての地位について緊急かつ包括的な解決を、終始一貫して強く求めてきている。国連はまた、先導とヘイトスピーチと闘い、予防行動を奨励しそして異教徒間の対話を促進するために切れ目なく活動している。同国は、2015年後半に総選挙に直面するので、私たちは、信頼に足る、包括的なまた透明な選挙過程を奨励し続けるつもりである。

39. イエメンにおいては、ハーディ・マンスール大統領の政府とフーシやその盟友との間の紛争が、彼らの間の合意している権力分担の解決を見つけ出す国際連合による最善の努力にもかかわらず、

状況の著しい悪化をもたらした。国際連合が仲介した合意が9月に調印されたのであるが、フーシは、権力と領域についての彼らの支配力を固めまた拡大し続けた。2015年1月に、大統領と首相は、辞表を提出した。大統領は、2015年2月にアデンに逃れ、彼の辞表を撤回し、そしてその後サウジアラビアに逃走した。大統領の要請で、サウジアラビアが主導した10か国の連立組織が、3月26日にフーシとフーシ同盟の所在地に、空爆を始めた。それと同時に、イエメンにおける地上での戦闘は、人道緊急事態を誘発しつつ、段階的に拡大した。紛争の平和的解決を促進する目的で、イエメン担当の私の新しい特使は、6月15日から19日までジュネーブでイエメンの当事者間の協議会を開いた。しかしながら、状況を解決する合意には、達しなかった。彼の取組は続いている。

40. 報告期間が、国際的な注目を浴びる中で課題により支配されてきたのと同時に、対話を促進することや緊張を段階的に縮小するのを援助することにより、目立つのと穏やかな両方で、私たちが重要な進展を果たしたかあるいは必要不可欠な予防活動を実行し続けている多くのその他の状況があった。ブルキナファソにおいて、危機の兆候とそれからブレイズ・コンパオレ大統領の辞任をもたらした「大衆暴動」の時に、包括的な国民対話過程に従事する国の利害関係者を支援するため、アフリカ連合および西アフリカ諸国経済共同体の代表と共に、西アフリカ担当事務総長特別代表により講じられた緊急行動は、暫定政府に関する合意をもたらした。国連は、移行期間を通してブルキナファソの利害関係者を支援し続けることとする。

41. レバノンにおいて、国際支援グループが、レバノン軍に対するまたシリア・アラブ共和国の紛争の結果としての例外的な難民の存在を扱う政府の取組の支援を含む、地域の範囲で国際的な援助を動員することにより、同国の安定と統一を保つために活動した。イラク担当事務総長特別代表は、イラク政府とクルディスタン地域政府との間のレベニューシェアリングと石油輸出に関する重要な合意を促進することを含む、主要なイラクの利害関係者間を調停する彼の取組を続けた。彼は、財政的に過大な負担の時に、クウェートに対する賠償金支払いを延期するというイラク政府の要請についての議論をまた促進した。私は、事務総長特別顧問により促進された本格的な交渉が2015年5月に再開された、キプロス問題の包括的解決を促進することに、個人的に積極的に関わり続けている。モーリタニアにおいて、国際連合国別現地チームは、社会的な団結、奴隷制度および土地権に関する国民対話を支援した。私は、2015年7月にパキスタンで開催された、可能性のある和

平プロセスへの発展を奨励するものとしての、アフガニスタン政府とタリバーン代表との間の直接交渉の開催を歓迎する。

42. 予防的な取組も、私たちが重大な人権侵害を予防する最も基本的な集団的責任を果たすことを確実にする国際連合制度の行動と提携している、私の人権アップフロント活動の中心でもある。過去1年以上、取組が、この活動の一部として本部と現場の両方で国際連合の早期警戒および早期行動能力を改善するために行われた。命じられた義務を果たす国連の準備を強化するため、追加の支援が現地に駐留する幾つかの国際連合に提供された。

43. 年を追う毎に、地域的なまた準地域的な機構との私たちの協力関係は、増大しそして深まっている。この1年は、以下の例で、また実際この報告書を通して示されるように、例外ではない。欧州連合は、中央アフリカ共和国、マリおよびソマリアを含む、仲介、紛争予防および緊急対応において国際連合の重要なパートナーである。ウクライナにおいて私たちは、その監視団を含む、欧州安全保障協力機構の取組を支援した。スーダンと南スーダンにおいて、私の特使を通して私たちは、南スーダンにおける反目し合う派閥の間を仲介する政府間開発機構による取組、並びにスーダンにおける多様な紛争の根本原因に対処する包括的なまた信頼に足る国民対話を開催しそしてダルフルおよび南コルドファン並びに青ナイル州の敵対行為の停止に達するアフリカ連合ハイレベル履行パネルの取組を支援した。中部アフリカ国連地域事務所は、その仲介構造を強化する中部アフリカ諸国経済共同体を援助しそしてボコ・ハラムによってもたらされた危機の地域的影響に対処するチャド湖流域委員会の取組を支援する国連西部アフリカ事務所と協働した。マダガスカルにおいて、国際連合は、行程表の完全実施を支援しそして国民和解と民主主義を助長するため、南部アフリカ開発共同体およびアフリカ連合と密接に活動した。大湖地域において私の特使は、コンゴ民主共和国および同地域のための平和、安全、協力枠組の、署名者による履行を支援して、他の「共同立会人」（アフリカ連合、大湖地域国際会議および南部アフリカ開発共同体）との国際連合の取組を調整し続けた。

44. 脆弱な住民は、ジェノサイド、戦争犯罪、民族浄化そして人道に対する罪に苦しみまたは深刻な危険に直面し続けた。早期警戒を強化するため、ジェノサイド予防および保護する責任事務所は、主要な危険要因を特定し懸念の状況を評価するための方法論を提供する残酷な犯罪に対する新し

い分析枠組を作り出した。ジェノサイド防止に関する特別顧問は、大湖地域国際会議とジェノサイドおよびその他の残酷な犯罪を防止するためのその加盟国により設立された国内委員会を含む、加盟国および地域取極に対して能力構築のための技術援助と支援もまた提供した。

45. 特に過激派集団による、チボクの少女の拉致のような、憂慮すべき子どもの大量拉致の傾向を含む、子どもに対する暴力は、継続しまた増加した。子どもと武力紛争担当事務総長特別代表は、これらの侵害を文書に詳細に記録し、実行者の責任追及を増大するナイジェリアにおける主要な監視と報告制度の設立を主導した。

46. 紛争における性的暴力に関する事務総長特別代表の取組は、例えば、具体的な公約を含むはっきりした枠組を通した、コンゴ民主共和国と南スーダンの両政府、反政府のスーダン人民解放運動／軍およびアフリカ連合や大湖地域国際会議のような地域的団体と共に、紛争関連性的暴力に対処する政治的意思を動員することをもたらした。コロンビア、コートジボワールおよびギニアは全て、性的暴力犯罪に対処することにおいて大きな進展を果たした。

47. ジェンダー平等と女性の地位と能力の向上ための国際連合機関（UN ウィメン）もまた、コロンビア、マリ、ミャンマー、南スーダン、シリア・アラブ共和国およびウクライナにおいて和平プロセスにおける女性の意味ある参加または協議を支援した。コロンビアにおいてその取組は、和平交渉のテーブルのそれぞれの側の代表のほぼ 3 分の 1 をまた全ての公的協議の参加者の少なくとも半分を女性が数えることをもたらした。

48. 私たちの平和創造と仲介取組におけるもう一つの歓迎する傾向は、どんなにその過程が異なりまた挑戦的であろうとも、一体性の向上に向けた私たちの進展である。国際連合が、過去一年間、主導的なまたは共同主導の役割にあった全ての過程において、私たちは、女性の集団を含む、市民社会との定期的な協議を確実にしてきた。

2. 民主的移行および選挙

49. 例えば選挙人、候補者および選挙職員としての女性の参加の障壁を取り除くことにより、政治

的参加を増やすための方法について、多くの政府に私たちが助言した、世界中の民主主義を支援するための私たちの取組において、包摂性もまた主要な目標であった。イラクやソマリアにおけるように、国際連合が政府や国家の情報過程を積極的に支援した事例において私たちは、女性、若者および少数者集団の包摂を、並びに社会における全ての構成部門の利益を代表する包摂的な政府の形成を、特に強く唱道した。

50. 国際連合は、報告期間中に憲政的な改革で広範な様々な諸国を支援した。ソマリアにおいて、事務総長特別代表は、同国の展望 2016 年重要な政策課題に関する勢いを維持するため、連邦政府、地域的な利害関係者および国際的なパートナーと、密接に活動した。

51. 民主的移行において得たものを定着させることを求めている諸国は、弱い制度的枠組の故に不安定が継続していることにしばしば直面している。大統領の任期の制限を変えるかまたは公務員に都合の良い方法で憲法上の規定を阻止する取組の事例があった。憲法は生きた文書でありまた政治制度は発展すると同時に、任期の制限の撤廃は、それが包括したまた幅広い国民的な総意に基づかない場合には、利己的なものとして見られまた紛争を導き出すことがある。ブルンジにおいて、憲法裁判所の判決にもかかわらず、現職大統領の立候補は、非常に分裂を起こさせるようなものであって、ブルンジ国民を分裂させた。警察と現職の第三期目の宣言に対する反対者との間の暴力的な衝突、並びに 5 月 13 日のクーデターの試みは、ブルンジと大湖地域にとっての遠大な結果をともなった大規模な人権侵害の予想を増した。国際連合は、ブルンジの利害関係者、地域的な指導者および国際社会と、緊張を和らげそして平和的で、信頼に足るまた包括的な選挙の実施のための条件を作り出すのに役立つための対話過程を促進するため、緊密に活動した。

52. 多くの加盟国は、信頼に足る選挙を実施するための技術的援助を求めて国際連合を頼ってきた。報告期間中、そのような援助は、幾つかは現在のまた新しい安全保障理事会の職務権限に基づいて、国の要請に基づいて、65 か国以上に提供された。チュニジアにおいて国連は、2014 年の大統領および議会選挙並びに憲法の国民投票の実施のために国家当局に支援を、そして一般公法戦略活動のために市民社会組織に拡大された支援をまた女性の候補者に対する支援を提供した。中央アフリカ共和国において国際連合は、2015 年の大統領および議会の選挙のための準備に支援を提供しており、同時に、選挙のための安全な環境と辛抱強い一般住民の保護を作り出すことをまた助長し

てきている。

53. 西アフリカ担当事務総長特別代表は、2015 年にベナン、ニジェールおよびトーゴにおける平和的で信頼に足る選挙の実施を支援するため、西アフリカ諸国経済共同体およびアフリカ連合と協働し、そして国連は、2014 年のレソトとザンビアにおける選挙の実施を支援するため南部アフリカ開発共同体と協働してきた。

54. 国際連合は、選挙関連の不安定と暴力を防止するため、国の取組を支援し続けてもきた。このことが適切でありまた要請された場合、国連は、選挙過程とその結果における国民の信頼を強化するため、技術的援助と予防外交努力を結びつけることを求めてきた。

3. 平和維持活動

55. 報告期間は、平和維持活動にとって努力を必要とするような期間だった。政治過程を支援しそして国が紛争から永続的な平和へ移行するのを助けるという平和維持活動の究極的な目標は、依然として同じまま残っている。しかしながら、命じられた任務が実施されている文脈は、徐々に発展し続けそして派遣団に割り当てられた資源と派遣団が活動する複合的な安全環境との間の不釣り合いな組み合わせは、ますますひどくなっている。幾つかの平和維持活動は、ますます許容できない、進行中の暴力や政治的解決の期待の見込のない、安全環境に適合しなければならなかった。国際連合マリ多元統合安定化ミッションおよびダルフール国際連合・アフリカ連合同ミッションが、簡易爆発装置、武装集団および犯罪組織からを含む、甚だしい攻撃や過剰な脅威に直面している、マリとダルフールを実例は含んでいる。

56. 他の事例においては、派遣団は、守るべき平和がなくまた支援する和平協定のない、活発な紛争地区に展開された。これらの事例においては、私たちの活動は、まず敵対行為の停止を成し遂げなければならず、それと同時に文民が長期の、持続可能な平和に集中できるまえに、彼らに保護を提供もしている。これは、例えば、中央アフリカ共和国における事例であった。そしてそこでは、一時期の政治的行程表がなくそして紛争の国を越えた性質、紛争当事者を特定する困難、そして戦闘員と文民との間の不鮮明な区別が、平和維持要員の役割と事務総長特別代表の周旋をかつてない

ほどに困難にしている。国連は、平和維持活動の職務権限が、現実的で、実行可能でそして適切なレベルの政治的支援と資源を伴っていることを確保するため、安全保障理事会との定期的なまた開かれた交換を開発している。

57. アフリカ連合との私たちの平和維持活動パートナーシップは、また報告期間中に改良されそして強化された。両機構は、2013 年のマリでまた 2014 年 9 月に中央アフリカ共和国で成し遂げられたアフリカ連合から国際連合派遣団への移行から教訓を学んできた。

58. 私たちは、派遣団を終了させることを最終的な目的で、コートジボワール、ハイチおよびリベリアで安全と統治の結果を定着させるために活動した。リベリアにおける派遣団縮小計画は、エボラ出血熱の危機の結果として逆戻りに苦しむと同時に、著しい進展が、自国の治安を管理しそして公的役務を提供する政府の能力を高めることに向けて、2015 年に為された。ハイチにおいて派遣団は、国政選挙の準備について政府と関与しつつあるが、国際社会からの持続的な政治的関与を必要とする、選挙日程表の完全遵守のためには危険が依然として残ったままである。国連は、パートナーの機構と受入政府への任務の順調な移行のための分かりやすい枠組を設立するために活動するつもりである。

59. コンゴ民主共和国において国際連合は、政治的および安全上の結果を定着させ東部の新しい地区に国の存在と権力を拡大することが望まれている国際安全保障と安定化支援戦略の第二段階を増やすために、政府と緊密に活動した。それと同時に、3 月に、国連は、人権デュー・ディリジェンス政策に従ったコンゴ民主共和国軍の活動および同国における国際連合コンゴ民主共和国安定化ミッション（MONUSCO）の最終状態に対する行程表に対する MONUSCO の継続的支援を含む、主要な問題について政府との戦略的対話を開始した。

60. いかに世界が変化しているかの印として、私たちは、異常な地球規模の課題に対処する加盟国を助けるため、報告期間中に非常に革新的な方法で、支援および人道使節を展開することに私たちの経験を活用した。前例のないエボラ出血熱の発生に対する国際的な対応の調整を主導するという、国際連合へのギニア、リベリアおよびシエラレオネの各大統領からの要請に応じて、エボラ出血熱の危機に対する迅速な、効果的な、効率的なそして一貫した対応を確保するために意思統一、効果

的な現場レベルの指導力および活動上の指示を強化する単一の運用上の危機管理制度の下で、全ての関連する国際連合関係者の能力と権限を利用する、国際連合エボラ緊急対応ミッションが、国連にとっての記録的なペースの 10 日という短時間で、計画され、承認されそして展開された。これは史上初の国際連合緊急保健派遣団であった。この柔軟性と展望は、シリア・アラブ共和国の公式に宣言された化学兵器貯蔵の 98.8 パーセントの破壊と廃棄をもたらした、化学兵器禁止機関と提携した国際連合の展開で同じように行使された。

61. 報告期間を通して、私たちは、全ての私たちの平和活動において、迅速さ、効率性、有効性、信用性、責任と行為および規律に最高の優先度を置き続けた。平和維持活動の経費が、今日、85 億ドルを超えているとは言え、今日の平和維持活動の一人当たりの経費は、物価上昇率を差し引いて調整した場合、2008-2009 年のそれよりも 17 パーセント少なくなっている。行為および規律に関しては、私は、私の報告書 (A/69/779) で総会の審議のために性的搾取および虐待に対する強化した行動計画を提案した。ここ数か月間、安全保障理事会の職務権限の下で中央アフリカ共和国に展開した国際連合以外の国際部隊による性的虐待およびその他の重大な犯罪の申立が表面化してきた。更なる出来事が、国際連合中央アフリカ多元統合安定化ミッションの平和維持要員により犯されてきたとその後また申し立てられた。ミッション、平和維持活動局およびフィールド支援局並びに国際連合人権高等弁務官事務所は、国際連合部隊の不正行為に関する内部手続を通してまた関係する加盟国とアフリカ連合との関与を通した両方で、これらの申立の全てについてフォローアップするため、緊密に協働している。私はまた、そのような申立の国連の扱い方を調査し、整っている手続の妥当性を評価しそして国際連合が将来に同様の申立に対応すべき方法について勧告する、独立した外部の再検討パネルを任命した。

4. 平和構築活動

62. 平和構築委員会、基金および支援事務所は、2015 年にその 10 周年を祝う。予見されたように、安全保障理事会および総会は、平和構築の観点で、その役割と立場の再検討、並びに国際連合組織の活動団体の再検討を求めた。6 月 29 日に二つの機関が、私に任命することを求めた平和構築構造の再検討に関する専門家の諮問集団は、「平和を持続させること」および紛争に陥ることや紛争の再発を防止する業績を改善する方法について一連の相互に関係のある勧告を与えているその報

告書（A/69/968-S/2015/490 を見よ）を提出した。私は、この再検討の政府間の第二段階の成果を期待している。紛争直後の平和構築に関する私の最近の報告書（A/69/399-S/2014/694）において、私は再検討にかなり関係のある多くの教訓を特定した。平和構築委員会もまた、報告期間中に、例えば、紛争の影響を受けた諸国が、国内資源を生み出しそして違法な金融の流れと闘う方法に関する討議など、幾つかの関連する討議を開催した。私は、伝統的な資金調達を越えた資源動員のその中心的機能を遂行するより現実的な手段に向けたまた地球規模の政策開発に向けた同委員会によるこの動きを称賛する。その間に、平和構築基金は、前年からの上昇傾向を続けて、紛争または政治的危機から脱しつつある 16 か国に対する 9,930 万ドルの配分を通して、その目標を達成した。配分の総計 9.3 パーセントが、その主要な目標としての女性の地位と能力の向上およびジェンダー平等を促進する事業に使われた。これは、2013 年の 7.4 パーセントからの上昇であったが、15 パーセントという私の目標にはまだ足りない。そしてそのことは、私たちが、安全保障理事会決議 1325（2000）の記念祭とその実施の再検討に近づいている時に、特に失望させている。私たちは、ジェンダー対応の平和構築に取りかかるこれらのまたその他の取組を強めなければならない。全体的にみれば、基金はほんの 20 か国以上で活動中だった。同じ期間中、総額 7,820 万ドルの基金への総拠出金は、21 の加盟国により支払われた。基金からの資金提供の資格があると宣言された二つの新しい国が、マダガスカルとマリである。計画された 1 億ドルの目標と 2015 年におよそ 6,000 万ドルの予想される拠出金に基づいて、平和構築基金は、資金調達のギャップを埋めそして少なくとも 4,000 万ドルの基金の活動を維持するため加盟国からの支援を求めている。

C. アフリカの開発

63. アフリカの開発の増加は、報告期間中に継続した。経済成長率は、2014 年の 3.5 パーセントから、2015 年の 4.6 パーセントへ上昇することが見積もられている。国際連合からの支援を得て、進展は、社会資本、農業と食糧安全保障、保健、教育、科学技術、輸送、ジェンダー平等および統治を含む、アフリカ開発のための新パートナーシップの優先事項部門において為された。国際連合監視メカニズムの枠組の範囲内で、国連は、約束の実施の再検討を通して、アフリカの開発に対する国際的な支援を強化するため活動した。国際連合監視メカニズムの最初の隔年報告書が、第 69 会期の総会に提出された。アフリカ地域調整メカニズムとアフリカ問題に関する各部局間の作業部会を通して、国連は、アフリカに対する一貫したまたより良く調整された国際連合制度全体の支援

を確保するため活動した。

64. この1年間は、ミレニアム開発目標の終了とアフリカ連合アプローチのための10か年能力構築計画のための枠組の終了で、幾つかの点で注目に値した。国際連合の支援は、それ故、とりわけポスト2015開発アジェンダに関するアフリカ共通の立場およびアフリカ大陸の開発のための長期の戦略的展望であるアジェンダ2063において要約されたアフリカ大陸の優先事項が、後継の合意、すなわち持続可能な開発目標を含む、ポスト2015開発アジェンダにおいて考慮されることを確保すること、に焦点が絞られた。国連は、第三回開発資金国際会議とポスト2015開発アジェンダを採択する、来るべき国際連合サミットに参加するアフリカ諸国に対して技術支援をまた提供した。

65. アフリカ大陸の一部の地域での治安の脅威の存続や気候変動の影響にもかかわらず、進展が、選挙関連の脅威に対処することにおいてまた平和、安全そして開発の間の関連を強化することにおいて、あった。平和、安全そして開発における女性や女兒の能力と地位の向上および指導力の重要性を考えれば、国際連合は、アフリカにおける女性と平和および安全に関する潜在的な大陸の結果フレームワークを通したものを含んだ、これに関連したアフリカ連合のアジェンダの地球規模の可視性と認識を高めるためにもまた活動し、また2015年は、アフリカのアジェンダ2063に向けた女性の地位と能力の向上および開発の年としてアフリカ連合により宣言された。

D. 人権の促進と保護

66. 人権侵害は、争い、社会不安、移送および人道的危機の原因や主要な結果となるので、この報告書のいたる所で描かれた憂鬱にさせる描写は、この節でも支配的である。報告期間は、人権の全くの無視、極端な暴力、刑事責任の免除の継続によりまた何百万人の罪のない人々を長期の不安定に晒している、第二次世界大戦以降世界が見てきた最悪の移送により、注目された。このような広範囲の人権の窮状を予防する機会を逃したことを後悔しないわけにはいかない。

67. 時宜にかなった効果的な予防にもっと力を入れることは、人権アップフロント活動の目的の一つである。このことは、一年を通して重大な人権侵害を予防しまた対応する国際連合の取組の重要な構成要素であり、また本部と国のレベルの両方での、国連の平和および安全、人道的やその他の

活動における人権の観点の首尾一貫した一層の統合の結果をもたらした。この活動は、経済的、社会的および文化的権利の侵害を含む、重大な人権侵害の危険性が早期に認められることまた全体の国際連合制度が、開発に対するまたは平和と安全に対する可能性のある脅威として、また共同責任として、それを理解することを確実にすることに役立った。

68. 多くの諸国および準地域が、国境を越えて恐怖を広げ、組織犯罪と子どもや女性の人権の重大な侵害の実行にしばしば関係していることを示唆された様々な非国家主体が関与している武力紛争を経験した。そのような行為は許されないとしても、暴力的な過激主義の根本原因のより深い理解は必要とされる。疎外感、長年の汚職、抑圧、差別、基本的人権の剥奪および放置により養われることがある。法の支配に基づく機関および包括的な統治、教育および真実を構築する長期の活動に対してより多くの注意が必要である。国際連合は、報告期間を通して、ヘイトスピーチと闘うこと、対話を促進すること、人権を保護することおよび社会的一貫性を高めることによるものを含んで、過激主義の拡大に対抗するための最も効果的な手段として、これらの幅広い条件に包括的に対処する必要性に注目した。私は、ジェノサイド、戦争犯罪、民族浄化および人道に対する罪から国民を守る自らの連帯責任に関する重要な約束と原則をまた再確認したという事実により、元気づけられた。この約束は歓迎するとしても、それが実行において十分に支持される前には行くべき長い道のりがある。

69. 全てを含むことと平等に置かれた強い重点は、報告期間中の国際連合活動の柱を横切る主要な筋道であった。移住者、障がい者、女性と子どもの権利、性的志向、および様々な少数者の権利のような、地球規模の人権の課題は、平等と差別に対処することの促進を通して、処理された。障がい者の権利に関する条約の過去一年間の多い批准数は、国家が、この問題に関する新しいアプローチに受容性があることを示している。女性と子どもの人権を守ることににおいても、いくらかの進展がなされたが、それは遅くまた一様でない。同じ事は、移住者について言うことはできない。人間の歴史においてかつてないほどいま移動している国際的な多くの移住者がおり、彼らの多くは、移住周期を通して、出身国、通過国および目的地の国において、受け入れがたいレベルの人権侵害に直面している。呼応して、国際連合は、全ての移住者の人権の保護について懇願した政府に対し、包括的で持続可能な社会的および経済的開発のために不可欠なものとして移住者を喜んで受け入れることを求めた。これに関連して、私は、国境における人権に関する推奨される原則と指針を出

した。

70. 特に紛争状況において、だがまた選挙過程の文脈においても、政治的移行にある諸国においても、並びにテロ対策政策の枠組においても、深刻な市民社会に対する増えつつある脅威は、大きな懸念の問題である。国際連合は、市民社会が自由にまたいやがらせなしに活動できることを確実にする国家を支援し続けている。人権擁護者に対する攻撃は、そうであったように、続いていた。それと同時に、国際連合と協力する者の脅迫や彼らに対する報復が、あらゆるレベルでくり返し非難された。私は、人権理事会、総会および安全保障理事会での報道関係者の保護についての議論を完全に支持しそして決議 2222（2015）の安全保障理事会による最近の採択を歓迎する。

71. 国際連合人権高等弁務官は、朝鮮民主主義人民共和国、イラク、ミャンマー、南スーダンおよびウクライナに関するものを含む多くの極めて重要な状況について、並びに文民の保護に関する定期的な概況説明および例えば小型武器に関するテーマ別の概況説明を提供して、安全保障理事会に対処した。人権理事会は、ブルンジ、中央アフリカ共和国、朝鮮民主主義人民共和国、イラク、リビア、マリ、南スーダン、シリア・アラブ共和国およびウクライナの問題を審議した。

72. 国際連合計画に対する人権に基づくアプローチは、バングラデッシュ、ドミニカ共和国、ジャマイカ、マラウィ、モルディブ、ナイジェリア、フィリピン、シエラレオネ、東ティモール、タンザニア連合共和国およびジンバブエにおける国別現地チームに対して、またバンコクとパナマにおける国際連合開発グループ地域チームに対して、11 名の新しい人権助言者の展開を続けた。人権基準および原則もまたポスト 2015 開発アジェンダの構想において考慮された。

73. 国際連合人権制度は、テーマ別と国別の両方で、新しい問題を前面に持ち出した早期の警戒機能を提供した幅広い人権問題に注意をもたらし続けた。多くの特別手続任務は増加し、そして前例のない数の調査員会や事実調査派遣団／調査団が展開された。すなわち、中央アフリカ共和国、朝鮮民主主義人民共和国、エリトリア、イラク、スリランカ、シリア・アラブ共和国およびパレスチナ占領地の関係において。現地に基盤を置く組織の設立を含む、朝鮮民主主義人民共和国における人権に関する調査委員会報告書の勧告は、また力強く遂行された。定期的普遍的審査制度は、国の 100 パーセントの参加と加盟国の圧倒的な支持から利益を受け続けている。条約機関制度の強化

過程（総会決議 68/268）は、上手く完了した。

74. 人権保護の多様な課題に直面して、増加している困難な財政状況と人権理事会とりわけ新高等弁務官からの新しいまた時には資金がない任務に由来する高い要求は、優先順位を付けることと資金を人々の命に大きな影響がある分野に向けることを確保するため、高等弁務官事務所の過程を再構築することを導き出した。私はこれらの取組を十分に支持するが、加盟国が人権の保護と促進に究極的な責任があることそして国際連合がその目的のために加盟国を支持だけできることを想起する。

E. 人道援助努力の効果的な調整

75. 今回の報告期間は、いくつもの悲惨な人道的基準があった。31 か国からの 7,600 万人以上が援助を必要とした。第二次世界大戦以降最大の数の 5,100 万人を越える多くの人々が紛争により立ち退かされた。2014 年に 400 以上の自然災害があり、1 万 7,000 人以上の命が失われ、820 億ドル以上の被害が発生した。この年は、六つのレベル 3 の緊急事態（中央アフリカ共和国、イラク、フィリピン、南スーダン、シリア・アラブ共和国、そしてイエメン）とエボラ出血熱の危機により支配された。それは、すさまじい苦しみの原因となった現在進行中の多くのその他の危機と連合して発展した。資金調達が増えたと同時に、2011 年の 37 パーセント（33 億ドル）から 2014 年の 40 パーセント（74 億ドル）に、資金調達の不足もまた増えた。ほぼ 110 億ドルが機関間アピールのために拠出され、グローバル中央緊急対応基金のために前例のない 4 億 7,900 万ドルが、そして 22 の国を基準とした予備基金のために 6 億ドルが拠出された。増えている人道的必要性は、それを満たすために利用可能な資源をしのぎ続けている。

76. 2014 年期間中、紛争当事者が国際人道法を遵守しなかったことが続いたことは、特別の懸念であり、そのことは違反者の責任が追及できないことであった。私は、人口密集地区における爆発性兵器の使用の人道的影響によりまた一般的に文民、特に女性と女兒、に関する紛争の影響および退去させられた人々の増加している数に驚かされた。何百万人もの人々が、敵対行為、危険および当事者によりきちんと置かれた人道的アクセスに対する障害の故に、保護または適切な支援なしに、依然としてそのまま残っている。

77. 課題の規模にもかかわらず多くの政府は、危機を処理する大きな能力を持っており、そしてそれ故に、国際的な人道援助制度が、具体的な格差を埋めるために、より適合するようなやり方で活動し、具体的な役務を提供しまたは国の専門知識を更に策定することを選びつつ、それほど多くはないが、多くの政府は支援を要請している。国や地方の市民社会グループや民間部門企業を含む非常に多くの関係者がいる。このことは、一貫性の課題を与えると同時に、それは皆が影響を受けた住民の必要性を満たす共有された目標に向けて協働する場合には、有効性を増す機会ともなり得る。

78. 必要性和資源との間の増えつつある格差に対処するため、資金供与の基盤は、拡大しなければならない。しかしながら、増加した資金提供だけでは答えではなく、私は必要な変革を審議するため人道援助資金調達に関するハイレベルパネルを任命した。私たちは、削減することや人道的必要性を単に満たすだけではないことに向けて活動することを含んで、異なつて活動することが必要である。人道的アピールの平均的な長さは今や7年で、そして人々が退去させられている平均的期間は17年である。長期の移送危機のような長引いた危機に対する一年を基礎とした計画立案と資金を集めることは最も効果的または効率的な対処方法ではない。人道的そして開発計画のより接近をもたらす、長期の成果志向アプローチが必要とされている。しかしながら、根本原因に対処する実質的に高度な政治的約束なしには、増加している必要性を絶えず扱うことは可能ではないだろう。ポスト 2015 開発アジェンダ、災害リスク削減新枠組および気候変動と新都市アジェンダをめぐる現行の議論は、開発と人道的部門に共通のこれら地球規模の課題により良く対処する独特な機会である。トルコのイスタンブールで 2016 年 3 月に開かれることになっている世界人道サミットは、人道的活動のための野心的で力強く先に進むアジェンダを設け、そしてこれらの基本的な課題の幾つかに対処するだろう。

F. 司法および国際法の促進

79. 報告期間の終わりに、旧ユーゴスラビア国際裁判所は、引き続き三つの控訴審に取り組みそして高位の政治家と軍の重要人物の四つの法廷が続いていた。ルワンダ国際刑事裁判所は、引き続きその最後の控訴審に取り組みそして 2015 年末に公式な閉鎖が予定されている。特別法廷の不可欠な機能を継続しそしてその遺産を維持する、両国際刑事裁判所に代わる国際残余メカニズムは、12

月にその最初の控訴審判決を下した。

80. カンボジア裁判所内設置の特別法廷は、2014年8月に、人道に対する罪で、二人のクメール・ルージュ指導者に有罪を宣告したが、さらにまた手続は続いている。国際的な共同捜査判事は、三人の個人を告訴した。レバノン特別法廷は、ラフィク・ハリリに対する攻撃に関して五人の被疑者の欠席裁判を続けそして商業的なメディアの団体に対する二つの侮辱罪の審理の一つを始めた。

81. 報告期間中に、国際連合は、国際刑事裁判所とのその協力協定の発効10周年を祝った。国際連合は、国際的な関心のある重大な犯罪に対する責任追及を促進したローマ規程の普遍的な批准を唱道し続けてきた。同裁判所は、12月にトーマス・ルバンガの有罪を支持しそして3月に上訴裁判部は、彼の犠牲者に対する賠償のための原則と手続を制定した。検察官は、同裁判所の9番目の事態を記している、パレスチナにおける事態への予備的な検討を開始し、そして中央アフリカ共和国における事態への二度目の捜査を開始した。

82. 戦争犯罪、人道に対する罪、ジェノサイドおよびその他の人権の重大な侵害は、国際的なそして国のレベルの両方での、法の支配のまさにその基礎を損なっている。国際刑事裁判所は、これらの罪を捜査しそして訴追するために設立されたとしても、主要な責任は加盟国にかかっている。その理由で、私たちは、国際法に従って、これらの犯罪に対する刑事責任の免除と闘う国の能力を高めることを支援する活動に高い優先順位を与え続けている。

83. 中央アフリカ共和国当局は、国際人権法と人道法の重大な違反を含む、重大な犯罪に対処する国の特別刑事裁判所を設立する法を採択した。国際連合中央アフリカ多元統合安定化ミッションは、その裁判所の設立と運用化に関しての国家当局に対する支援を提供し続けることになっている。私は、南スーダンで犯された国際犯罪に関して責任と移行期正義に対処している選択肢を策定した。

84. 国連は、海洋法に関する国際連合条約およびその実施協定に反映されたような、海洋に対する法的制度を強化する加盟国の取組を支援し続けてきた。これらの文書の実施は、持続的なまた包括的な経済成長、社会開発および環境保護に貢献している。海洋は、持続可能な開発目標に関するオープン作業部会の活動に大きな役割を果たしてきた。国連は、特に国連海洋関連機関を通して、海

洋および沿岸地区に関連した機関間調整および国際連合システム活動の一貫性を強化し続けてもまたきている。

G. 軍縮

85. 多数国間軍縮フォーラムは、この報告期間中、楽観論に対する幾つかの突破口と理由があったとはいえ、結果を出すために苦しみ続けた。

86. 国際社会は、シリアの化学兵器の迅速且つ検証された廃絶を確保するため団結した。化学兵器禁止機関（OPCW）と国際連合シリア・アラブ共和国化学兵器廃絶計画との合同ミッションは、その職務権限を完了しそして2014年9月30日に終わりに近づいた。この取組は、いろいろな意味で、本当にわかりにくい状況の真っ最中の楽しい出来事であった。課題は、OPCW と協力してシリア当局により対処されることが必要な、幾つかの未解決の問題について依然として残ったままである。軍縮部は、残されている作業について OPCW とシリア当局と共に関与し続け、そして決議 2118（2013）の履行に関連した問題について、安全保障理事会に要点を伝え続けている。シリア・アラブ共和国における兵器として有毒化学物質の使用についての申立に関する OPCW 事実調査派遣団はまた、その活動を続けた。そのような申立の数が増えていることに関する懸念は、決議 2209 (2015) において反映された。そしてその中で、安全保障理事会は、OPCW 事実調査派遣団の継続的活動についての支援を表明しそして、特に、兵器としてのそのような化学物質の使用について責任を有する者は、責任を問われなければならないことを強調した。

87. 軍縮に対する人道的アプローチは、報告期間中に勢いを見た。私は、特定通常兵器使用禁止制限条約の後援の下での自主的な兵器システムの人道的、法的、軍事的および種族的な重要性に対処することにおける増えつつある利益並びにその他の生じつつある技術により特に勇気づけられた。私は、無人武装航空機の使用に関する人道的および人権問題に関する焦点を含む、無人武装航空機に関する研究を依頼した。2014年12月に開催された核兵器の人道的影響に関するウィーン会議は、核兵器により与えられる危険の認識を高めることに貢献した。その会議は、使用の危険性および私たちの緊急対応能力に対する基本的な課題についての私たちの知識を高めた。私たちが、人道的影響について理解すればするほど、私たちが緊急な義務として軍縮を追求しなければならないことが

ますます明らかになった。国際連合はまた、対人地雷禁止条約とクラスター弾に関する条約を支援し続けた。

88. 私は、核兵器の不拡散に関する条約当事国の 2015 年再検討会議が、実質的成果に関する総意に達しなかったことに深く失望している。増加している国際的緊張は、核軍縮に対する確実な進展の必要性を示していると同時に、この課題を先に進める方法について大きな格差が依然として存在している。国家は、この妨げに、核軍縮の追求における新しい活動および核の不拡散を強化する継続的取組のために近年構築してきた勢いを止めさせてはならない。

89. 通常兵器の規制の分野において、私たちは、2014 年 12 月 24 日の画期的な出来事の武器貿易条約の迅速な発効を見た。このことは、通常兵器の無責任な譲渡とその迂回路に終わりをもたらし国際社会の集団的意思の証である。紛争地区、テロリストおよび組織犯罪者集団に対する管理されていない武器の移譲は、過去のことになるべきである。武器貿易条約が本当に効果的になるためには、同条約への普遍的な参加、並びに全てによる厳格な実施が不可欠である。

90. 大いに反省することは、その違いに打ち勝ち、実質的な交渉の再開を許す作業計画に合意するための軍縮会議が 19 年たっても無力であり続けていることであった。私は、課題に応じそして多数国間軍縮のための世界で一つの交渉フォーラムとしてのその任務を実行するため軍縮会議を再び求める。

91. その関連性を再び有効にすることに向けた具体的な最初の措置として、同会議は、核兵器またはその他の爆発装置のための核分裂物質の製造の禁止に関する政府の専門家グループの慣行に注意することによるものを含んで、合意された作業計画を基礎に実質的な活動を実行することを始めるべきである。私は、核兵器のない世界に向けた重要な一歩である、この禁止に関する交渉の早期開始に期待している。

92. 私は、世話人による疲れを知らない努力にもかかわらず、中東諸国が共に同地域に核兵器およびあらゆる他の大量破壊兵器をなくす方法についての合意を見出すことにほとんど進展がなかったことを残念に思う。私は、この目標を達成するために必要な包括的な地域的対話を促進した維

持する取組を支援する用意をし続けている。

93. 最後に、国際連合は多数国間軍縮条約およびその他の法的文書の下での自らの義務を履行するための国の能力を強化する支援を求める加盟国からの要請の数が増えていることに対応した。

H. 薬物統制、犯罪予防およびあらゆる形態および表現における国際的なテロリズムとの闘い

94. 国際的なテロリズムは、安全保障理事会の注目の大部分と世界の主要項目を使い尽くしつつ、また最も悲劇的には過去以上に多くの生活に影響しつつ、過去一年間の国際的な議題の筆頭に上がった。私は、新しい世代の越境テロ集団による罪のない民間人に対して犯された残虐な行為をくり返し非難してきたことに気が付いた。もっとも、あまりにも頻繁に、私はテロリズムに資する条件に対処する失敗が、過激主義グループが魅力的であることを証明した環境を作り出し、それと同時に、人権を遵守していない対応は、私たちが最も大事にしているまさにその価値を損ないそして急進化を偶然あおることができるところを想起する必要性にも、また気が付いた。私は、国際法の下での全てのその義務を尊重するテロ対策活動を唱道し続けた。

95. シリア・アラブ共和国における紛争解決の失敗は、ISIL やアル・カーイダと協力関係にある集団を可能にする環境を作り出した。ISIL は、地域および国際の平和と安全に対する脅威を与えるためにイラクとシリア・アラブ共和国から外に広がった。その一方で、リビアでは、長引く無秩序と紛争が、攻撃を準備し実行するための暴力的な過激主義者集団にとっての肥沃な土壌を提供し、そして地方の急進的な集団が国際的なテロリストのネットワークへの忠誠を益々誓っている。ソマリアでは、国際連合により支援されたソマリア／アフリカ連合同軍事活動における進展が続いているにもかかわらず、アル・シャバーブグループが、4月2日のケニアのガリサ大学での147名の学生の実に酷い殺害で示した、広い地域に対して増大している脅威を与えている。

96. これらの発展は、治安および軍事活動に反応するだけでありそして焦点を絞ってきた、テロ対策に対する伝統的な対処方法の限界を露呈しており、またテロリズムに資する条件に対処することに関連する国際連合グローバルテロ対策戦略（総会決議 60/288）の第一の柱並びに地方の、国の、地域のそして地球規模のレベルでの極端な過激主義の幅広い課題に集中する必要性を再び私たち

に思い出させた。国際連合は、外国人テロ戦闘員および極端な過激主義に対処することに関する安全保障理事会決議 2178 (2014)、活性化されたテロ対策履行タスクフォースの作業部会、そして能力構築を向上させている新しく資金の援助を受けているテロ対策センターのような、多くの画期的な諸決議を通してこれらの新しい課題に対処するため、報告期間中に、措置を講じた。私が総会の第 70 会期に提出することになっている、極端な過激主義の防止に関する行動計画に関する作業は、始まった。

97. 現地における国際連合の駐留もまた、テロリズム、組織犯罪および汚職の国境を越えた性質に取り組むことにおいて役割を果たした。中部アフリカや西部アフリカの私たちの地域事務所は、チャド湖流域地域の諸国におけるボコ・ハラムの暴動状態により影響を受けた政府や準地域機構を支援してきた。中部アフリカにおいては私たちは、テロ対策戦略の策定および小型武器管理を支援し、そして密猟および違法な野生動物取引が、神の抵抗軍、中央アフリカ共和国における元セレカ、およびスーダンからのジャンジャウィード・グループのような武装集団の活動の資金調達に果たしてきた役割に照らして、地域的な緊急密猟対策行動計画の策定において中部アフリカ諸国経済共同体を支援した。私たちはまた、海賊および海上武装強盗により今最も影響を受けているアフリカの地域の、ギニア湾のための包括的な地域海賊対策戦略の策定でも支援した。私たちはまた、ソマリア海賊による「被害船舶ゼロ、乗組員被害ゼロ」の目標を達成するため、ソマリア沿岸沖の海賊に対処し続けた。チュニジアにおいては、私たちは、穴の多い国境に沿った越境組織犯罪を防止するため国境の安全を強化するための改革を支援した。アジア・太平洋地域においては、国際連合支援は、海洋の安全、極端な過激主義対策および越境組織犯罪を含む問題について、東南アジア諸国連合に提供された。それと同時に、二つのハイレベルテロ対策政治対話が、ヨーロッパ連合との間で開催された。

98. 国際連合はまた、国際的な法的文書の批准と履行を通して加盟国の対応能力を構築している加盟国を支援し続けた。これらは、テロ対策の 19 の国際的な法的文書並びに現在 175 か国が当事国である腐敗の防止に関する国際連合条約を含む。過去 1 年間に、10 の新たな諸国や地域が、越境組織犯罪防止国際連合条約の当事国となった。特殊な技術支援や能力構築もまた、一般的には刑事司法改革にまた違法な資金の流出入、テロリズムの資金調達およびテロリストの目的のためのインターネットの使用、外国人テロ戦闘員、身代金目的の誘拐、盗まれた資産の回復そしてテロリズムに

対する人権遵守に関するものを含む、テロ対策の特別な分野に関する問題についての刑事司法および法執行職員に対して利用可能となった。

99. 薬物取引、組織犯罪、腐敗およびテロリズムの間の関係は、ますます多様にまたきわめて複雑になってきており、そして世界的に不安や政治的不安定をあおっている。アフガニスタンから西部アフリカや中部アフリカまで、そして最近になって中東、北部アフリカや東部アフリカにおいて、これらの繋がり、ますます明白になってきている。地中海やアンダマン海において苦しんでいる移住者に由来する最近の悲劇的な出来事は、これらの問題に対処することにおける国家の共同責任を更に目立たせてきている。国連は、政府に知らせつつまた適切且つ効果的な対応の設計を支援するため実用的な情報を提供しつつ、薬物市場の発展、組織犯罪の力学および暴力の性質や重大さに関する証拠に基づく知識を提供した。

100. 地球規模のレベルでは、世界の薬物問題、人身取引、殺人および合成薬物に関する最重要な報告書が、政策議論を形作るのに役立った。世界保健機関（WHO）によれば、毎年、約 20 万人の人々が薬物の使用で亡くなりそして世界のおよそ 2,700 万人の人々が薬物障害で苦しんでいる。国際連合薬物犯罪事務所、WHO、HIV/AIDS に関する国際連合同計画および世界銀行の予測によれば、薬を注射した 170 万人および 660 万人の人々が、HIV と C 型肝炎にそれぞれ感染している。さらに多くの人々が、違法な薬物貿易に浸透している暴力の結果として亡くなっている。国連は、越境組織犯罪および薬物取引に関する国際連合システムタスクフォースを通したものを含んで、2016 年に開催されることになっている世界の薬物問題に関する特別総会に備えて、薬物生産、取引および関連する越境組織犯罪の根本原因に対処する効果的な多数国間場を提供することをその一方で続けつつ、健康と福祉についての懸念に基づいた観点からの問題を審議することを確実にすることにおけるものを含んで、加盟国を支援し続けてきた。同総会は、世界の薬物問題に対処することにおいて活動してきたものまた活動してこなかったものについての意見と教訓の包括的で全てを含む交換のための貴重な機会を提供するであろう。国際連合は、公衆衛生、人権、予防、治療およびケア並びに経済的、社会的および文化的措置に関する焦点を増やすため、薬物に関する国際的な政策の調整を唱道している。

101. 国連は、薬物乱用防止、薬物依存治療、HIV 予防、治療とケアそして WHO との密接に調整

して、利用水準が低い諸国における鎮痛剤の利用可能性を確保するための試験的な計画に関連した問題を主流化するための取組を継続した。

第三章 国連の強化

102. 総会は、国連の意思決定能力を高めるためまた総会に 21 世紀をより良く反映させるため、過去一年間に重要な発展を行った。政府間交渉は、安全保障理事会改革について継続しそして総会は時事問題について主要機関の中の調整に新しい力点を置いた。総会と市民社会との間の強化された相互作用はまた優先順位が付けられた。安全保障理事会会合の頻度が 21 パーセント上昇しそして総会会合の数は 36 パーセント増え、そして事務局は量的に多いが質的に首尾一貫した会議サービス支援を提供した。会議サービスの提供は、コンピュータ利用と機械翻訳のための世界的な国際連合プラットフォームを含む、多様な方法で近代化された。

103. 事務局は、一年を通して、国連を真に世界的にするためそして任務を効果的且つ効率的に提供する能力を最大化するために考案された多くの主要な革新的な活動について、注目に値する進展を果たした。例えば、企業資源計画制度である Umoja は、ナイロビを本拠地とする組織（国際連合ナイロビ事務所、国際連合環境計画、国連ハビタット）に対する並びに人道問題調整事務所およびアジア経済社会委員会と太平洋経済社会委員会に対するその配備で、6 月にもう一つの決定的な重要な段階に到達した。それは、11 月に全てのその他の勤務地に配備され、そのことにより、世界的な事務局のための財政的、人的および物的資源の統合されたまた合理化された管理を可能にする。この標準化された解決策は、平和維持活動および特別政治ミッションへのサービスを含む、世界的な事務局全体の高質な、時宜を得たそして標準化された行政サービスを提供することになる世界的なサービス提供モデルを同様に支援することになる。私は、総会の第 70 会期に世界的なサービス提供モデルに関する枠組提案を提出するつもりである。

104. さらに、機動性およびキャリア開発枠組は、政治問題、平和維持活動問題および人道問題について作業している部局や事務所を含む、ファースト・ジョブ・ネットワーク (POLNET) の 2016 年 1 月 1 日の始動でまもなく実現することになっている。職員配置に対するこの新しいアプローチは、任務が必要とする条件や組織上の優先事項から生じる国連の戦略的必要性を満たすための職員の移動を可能にするであろう。

105. 2014 年の国際公会計基準の実施は、国連の財政的状況やその資源の利用についての詳細な情

報を大いに利用可能にすることにより透明性を増し、そして管理についての決定の追跡性を高める結果をもたらし、そのことにより説明責任を強化している。

106. 情報通信技術戦略の総会による是認を念頭において、私は、標準、良い慣行および統治が必要とする条件を遵守する事業全体と地域部門の両方でモデルに対する技術的サービスおよび計画を移行することによるものを含む、かなり断片的な技術情勢に対処し続けるつもりである。私は、情報の安全と運用上の強靱性に最高の優先権を与え続ける。

107. 国連が直面する固有のリスクのレベル並びに進行中の組織改革の重大さにより生み出される新しいリスクを考えれば、事務局は、私たちの活動に対するリスクをやわらげるための事業全体の一貫したまた統合された管理制度を実施する過程にある。

108. ニューヨークの本部全体の修復と改装は、2015年のキャピタル・マスター・プラン事務所の解散と管理局の中央サポート・サービス事務所への責任の移譲で成功裡に完了した。

109. 無視できない管理上の注意が本年、世界中の国際連合要員の安全および防護の増加している極めて重要な問題に払われた。国連は、リスクが高い環境における保護の国連の義務を強化すること、国際連合要員に対して犯された重大な犯罪や暴力行為に対する刑事責任の免除を終わらせること、そして是非ともしなければならない計画に対する安全上のリスクを押し下げるため計画的な危険性方法論における一貫性を確保することに向けて活動した。さらに、国連は、引き続き安全管理の強化に打ち込んでいる。

パートナーシップ

110. 全ての者のための持続可能なエネルギー、エブリー・ウーマン、エブリー・チャイルド、グローバル教育最優先イニシアティブ、飢餓ゼロへの挑戦およびグローバル・パルスのようなマルチステークホルダーの活動は、国際連合の目標を達成することに向けた様々な関係者の力を利用するパートナーシップにおける大きな可能性を示している。2014年9月の気候サミットは、排出量を削減しそして強靱性を強化するため野心的な行動を引き受ける民間部門、金融および市民社会から

の指導者を動員した。国連は、監視および責任を確保すると同時に、パートナーシップの偉大な可能性に取り組み続けるべきである。

111. 加盟国の立場を重んじつつ、私はもはや、2014-2015 年の計画予算案の文脈において行われてきたパートナーシップ・ファシリティの設立に関する提案を審議することを望まないことを総会に通知した。このことは、パートナーシップ・ファシリティが提案された目的を達成する最善の方法についての更なる審議を許している。それは、提案されたパートナーシップ・ファシリティの審議の文脈において行われる議論また開発のための資金提供およびポスト 2015 開発枠組についての加盟国の決定の両方により知らされることになるこの分野におけるその後の提案を許しもする。

112. 既存のパートナーシップに関して、私たちは、政府、市民社会、民間部門、慈善団体、学界およびその他の多方面の組織を含む、幅広いパートナーと私たちの活動の影響を増すことに集中し続けている。国際連合グローバル・コンパクトを通して、150 か国以上の 8,000 以上の会社が、既に、責任のある事業実践を先に進めている。さらに、国際連合と民間企業との間の協力に関する指針を改訂するため、国連システムを通して協議が開催された。広報局は、多様な言語の伝統的なまた新しい情報発信源とのパートナーシップ、クリエイティブコミュニティ、および国際連合アカデミック・インパクトに積極的に掛かり合ってきた 1,000 以上の大学を通して、国連の活動と目標の世界的な認識を高めた。ホロコースト、ルワンダのジェノサイドおよび大西洋を横断した奴隷貿易に関連したものを含む、総会により負託されたアウトリーチ計画は、新しいパートナーの提携と観衆の増加を得て強化され続けた。国連はまた、主に補助金を出すことから政策提言や資源動員並びに部門間のパートナーシップへと、基金の活動の徐々に発展している性質を反映するため、国際連合基金との改訂および再記述連携協定にもまた署名した。

第Ⅳ章

結論

113. この 70 周年の年において、私は、世界がいままで以上に国際連合を必要としていることを確信している。私たちが 15 年前に採択したミレニアム開発目標は、10 億人以上の人々を極度の貧困から引き上げることに役立ちまた世界中の数百万人の命を救いそして数百万人以上の条件を改善してきた。政府は、持続可能な未来を図示する機会の窓をもち、政府は 2015 年 9 月に次の 15 年間のための新しい普遍的な開発アジェンダを採択しそして 12 月に野心的な気候変動協定に合意する用意が十分に整っている。国際の平和および安全に対する増加している複合的なまた相互に関連した脅威は、紛争予防、平和維持活動および平和構築活動に対する私たちの対処方法を再検討しそして更新するように私たちに挑んでいる。これらは、待ち受けているほんの少しの課題であり、それは加盟国の中の協力関係の前例のない精神を求めている。これらの共通の目標を達成するために共に活動しましょう。

Annex

Millennium Development Goals, targets and indicators, 2015: statistical tables

Goal 1 Eradicate extreme poverty and hunger

Target 1.A Halve, between 1990 and 2015, the proportion of people whose income is less than one dollar a day

Indicator 1.1

**Proportion of population living below \$1.25 purchasing power parity (PPP)
per day^{a,b}**

(Percentage)

	1990	1999	2005	2011
Developing regions	47.7	36.5	26.5	18.1
Northern Africa	5.0	4.5	2.7	1.5
Sub-Saharan Africa	56.7	59.4	52.8	46.8
Latin America and the Caribbean	12.6	11.0	7.4	4.6
Caribbean	32.5	27.7	26.8	22.4
Latin America	11.7	10.2	6.5	3.9
Eastern Asia	60.7	36.0	15.8	6.3
Southern Asia	51.7	43.0	37.6	23.4
Southern Asia excluding India	52.6	36.4	29.5	20.1
South-Eastern Asia	46.4	35.7	18.6	12.1
Western Asia	5.3	4.9	3.2	1.5
Oceania	55.1	32.4	19.9	6.9
Caucasus and Central Asia	7.9	19.2	7.5	3.6
Least developed countries	65.7	62.0	53.5	44.8
Landlocked developing countries	52.8	51.7	41.0	35.1
Small island developing States	35.5	28.5	25.1	19.6

^a High-income economies, as defined by the World Bank, are excluded.

^b Estimates by the World Bank, 4 May 2015.

Indicator 1.2
Poverty gap ratio^{a,b,c}
 (Percentage)

	1990	1999	2005	2011
Developing regions	16.2	11.8	8.0	5.3
Northern Africa	0.8	0.8	0.5	0.3
Sub-Saharan Africa	25.5	26.6	22.4	19.2
Latin America and the Caribbean	5.2	4.8	3.2	2.2
Caribbean	16.4	14.2	13.2	10.7
Latin America	4.6	4.4	2.7	1.8
Eastern Asia	21.0	11.2	3.9	1.3
Southern Asia	15.6	11.6	9.4	4.9
Southern Asia excluding India	18.1	10.6	7.5	4.4
South-Eastern Asia	15.1	9.6	4.2	2.2
Western Asia	1.1	0.9	0.5	0.3
Oceania	24.2	10.9	5.5	1.1
Caucasus and Central Asia	2.2	5.3	2.0	0.9
Least developed countries	27.7	26.1	21.2	17.0
Landlocked developing countries	23.3	20.5	15.0	12.4
Small island developing States	16.9	12.9	10.9	8.3

^a The poverty gap ratio at \$1.25 a day (2005 PPP) measures the magnitude of poverty. Expressed as a percentage of the poverty line, it is the result of multiplying the proportion of people who live below the poverty line by the difference between the poverty line and the average income of the population living under the poverty line.

^b High-income economies, as defined by the World Bank, are excluded.

^c Estimates by the World Bank, 4 May 2015.

Indicator 1.3
Share of poorest quintile in national consumption

No global or regional data are available.

Target 1.B**Achieve full and productive employment and decent work for all, including women and young people**

Indicator 1.4

Growth rate of gross domestic product (GDP) per person employed**(a) Annual growth rate of GDP per person employed**

(Percentage)

	2001	2014 ^a
World	0.8	1.8
Developing regions	1.6	3.1
Northern Africa	2.8	1.2
Sub-Saharan Africa	1.0	1.7
Latin America and the Caribbean	-1.4	-0.1
Caribbean	3.2	1.6
Latin America	-1.7	-0.2
Eastern Asia	6.3	6.4
Eastern Asia excluding China	2.5	2.9
Southern Asia	1.2	3.3
Southern Asia excluding India	0.5	1.8
South-Eastern Asia	1.2	2.8
Western Asia	-1.1	0.5
Oceania	-2.7	2.4
Caucasus and Central Asia	7.7	3.0
Developed regions	1.4	0.7
Least developed countries	2.7	2.7
Landlocked developing countries	3.3	2.4
Small island developing States	0.7	1.3

(b) GDP per person employed

(2005 United States dollars (PPP))

	1991	2000	2014 ^a
World	20 699	23 648	32 094
Developing regions	9 479	12 115	21 418
Northern Africa	26 013	28 758	35 332
Sub-Saharan Africa	6 870	6 544	9 070
Latin America and the Caribbean	26 127	27 394	30 836
Caribbean	26 586	28 425	34 585
Latin America	26 091	27 321	30 597
Eastern Asia	3 923	7 862	23 202
Eastern Asia excluding China	22 164	32 748	50 573

	1991	2000	2014 ^a
Southern Asia	6 258	8 065	14 633
Southern Asia excluding India	10 293	11 112	14 478
South-Eastern Asia	10 042	12 154	18 991
Western Asia	61 456	72 701	85 795
Oceania	5 869	6 071	7 130
Caucasus and Central Asia	16 625	11 472	24 937
Developed regions	57 745	66 577	78 706
Least developed countries	2 985	3 235	4 887
Landlocked developing countries	6 796	5 391	8 863
Small island developing States	26 984	31 795	41 203

^a Estimates.

Indicator 1.5

Employment-to-population ratio

(a) Total

(Percentage)

	1991	2000	2014 ^a
World	62.2	61.1	59.7
Developing regions	64.1	62.7	60.8
Northern Africa	41.5	40.2	42.6
Sub-Saharan Africa	63.1	63.0	64.6
Latin America and the Caribbean	57.4	58.3	61.8
Eastern Asia	74.4	73.0	67.7
Southern Asia	58.0	56.2	53.3
South-Eastern Asia	67.3	66.8	67.4
Western Asia	47.2	44.2	46.1
Oceania	67.0	67.4	67.6
Caucasus and Central Asia	57.6	56.5	60.2
Developed regions	56.6	55.8	55.5
Least developed countries	70.1	68.9	69.6
Landlocked developing countries	67.3	67.1	69.5
Small island developing States	55.3	55.6	58.0

(b) Men, women and youth, 2014^a

(Percentage)

	<i>Men</i>	<i>Women</i>	<i>Youth</i>
World	72.4	47.1	41.2
Developing regions	74.8	46.6	41.6
Northern Africa	67.5	18.0	22.4
Sub-Saharan Africa	71.2	58.0	47.0
Latin America and the Caribbean	75.1	49.3	45.3
Eastern Asia	74.1	61.1	49.7
Southern Asia	77.2	28.4	35.0
South-Eastern Asia	78.7	56.5	45.2
Western Asia	68.9	20.3	25.8
Oceania	71.9	63.2	51.8
Caucasus and Central Asia	69.5	51.4	37.2
Developed regions	62.2	49.2	38.2
Least developed countries	78.3	61.2	53.6
Landlocked developing countries	78.0	61.4	55.7
Small island developing States	68.4	47.9	36.8

^a Estimates.

Indicator 1.6

Proportion of employed people living below \$1.25 (PPP) per day**(a) Total number of employed people living below \$1.25 (PPP) per day**

(Millions)

	<i>1991</i>	<i>2000</i>	<i>2014^a</i>
World	899.5	708.4	319.5
Developing regions	898.8	707.3	319.4
Northern Africa	1.4	0.9	0.4
Sub-Saharan Africa	101.3	132.5	132.4
Latin America and the Caribbean	13.5	15.2	6.7
Eastern Asia	453.8	238.1	30.2
Southern Asia	228.7	227.7	124.3
South-Eastern Asia	96.9	87.6	23.6
Western Asia	0.7	0.5	0.4
Oceania	1.1	1.2	0.9
Caucasus and Central Asia	1.4	3.6	0.5
Developed regions	0.5	1.0	0.04
Least developed countries	137.6	160.5	128.7
Landlocked developing countries	49.5	59.3	48.4
Small island developing States	2.9	3.3	2.8

(b) Proportion of total employment

(Percentage)

	1991	2000	2014 ^a
World	48.9	32.7	11.8
Developing regions	52.0	34.4	12.3
Northern Africa	4.7	2.3	0.7
Sub-Saharan Africa	56.6	57.1	37.8
Latin America and the Caribbean	8.1	7.3	2.4
Eastern Asia	68.4	32.2	3.7
Southern Asia	52.9	43.4	18.7
South-Eastern Asia	50.1	36.6	7.6
Western Asia	2.0	1.1	0.6
Oceania	51.3	44.5	23.4
Caucasus and Central Asia	5.5	13.5	1.5
Developed regions	0.5	1.0	0.03
Least developed countries	68.5	62.2	33.9
Landlocked developing countries	49.1	47.4	25.7
Small island developing States	17.4	16.4	10.8

^a Estimates.

Indicator 1.7

Proportion of own-account and contributing family workers in total employment**(a) Both sexes**

(Percentage)

	1991	2000	2014 ^a
World	55.8	52.2	45.0
Developing regions	69.3	63.3	53.1
Northern Africa	36.4	32.4	28.2
Sub-Saharan Africa	81.5	80.1	76.6
Latin America and the Caribbean	36.6	35.6	31.0
Eastern Asia	71.2	57.2	40.4
Southern Asia	79.8	79.9	73.9
South-Eastern Asia	70.1	65.9	49.2
Western Asia	42.5	32.9	20.5
Oceania	77.2	71.5	71.9
Caucasus and Central Asia	37.6	47.9	37.3
Developed regions	11.7	11.1	9.8
Least developed countries	87.3	85.7	80.5
Landlocked developing countries	72.5	75.8	71.7
Small island developing States	33.8	36.0	38.5

(b) Men

(Percentage)

	1991	2000	2014 ^a
World	53.3	50.4	44.3
Developing regions	64.8	59.8	51.0
Northern Africa	32.5	29.3	24.3
Sub-Saharan Africa	76.7	75.1	70.1
Latin America and the Caribbean	35.6	35.2	31.1
Eastern Asia	65.5	51.7	38.3
Southern Asia	76.3	76.7	71.7
South-Eastern Asia	65.9	62.1	42.6
Western Asia	36.0	28.6	18.2
Oceania	72.9	68.3	68.2
Caucasus and Central Asia	37.3	48.0	37.4
Developed regions	12.0	11.6	10.9
Least developed countries	83.2	81.2	74.5
Landlocked developing countries	68.9	72.4	67.4
Small island developing States	33.0	36.2	39.3

(c) Women

(Percentage)

	1991	2000	2014 ^a
World	59.7	55.0	46.1
Developing regions	76.5	68.9	56.6
Northern Africa	52.7	45.6	42.6
Sub-Saharan Africa	88.0	86.4	84.5
Latin America and the Caribbean	38.4	36.4	30.9
Eastern Asia	78.1	63.8	43.0
Southern Asia	89.0	88.2	80.3
South-Eastern Asia	75.8	71.0	58.0
Western Asia	65.0	49.0	29.3
Oceania	82.4	75.2	76.3
Caucasus and Central Asia	38.0	47.9	37.1
Developed regions	11.4	10.5	8.4
Least developed countries	92.6	91.7	88.0
Landlocked developing countries	77.1	80.1	76.9
Small island developing States	35.1	35.6	37.3

^a Estimates.

Target 1.C
Halve, between 1990 and 2015, the proportion of people who suffer from hunger

Indicator 1.8

Prevalence of underweight children under 5 years of age^{a,b}

(a) Total

(Percentage)

	1990	2015 ^c
World	25	14
Northern Africa	10	4
Sub-Saharan Africa	29	20
Latin America and the Caribbean	7	2
Eastern Asia	15	2
Southern Asia	50	28
South-Eastern Asia	31	16
Western Asia	14	4
Oceania	18	19
Caucasus and Central Asia	9	4
Developed regions	1	2

(b) By sex, 2006-2010^d

(Percentage)

	Boys	Girls	Boy-to-girl ratio
Developing regions ^e	28	27	1.04
Northern Africa	6	4	1.50
Sub-Saharan Africa	23	19	1.21
Latin America and the Caribbean	5	4	1.25
Eastern Asia	—	—	—
Southern Asia	41	42	0.95
South-Eastern Asia	—	—	—
Western Asia	—	—	—
Oceania	—	—	—
Caucasus and Central Asia	6	5	1.20

(c) By residence, 2006-2010^d

(Percentage)

	<i>Rural</i>	<i>Urban</i>
Developing regions ^e	32	17
Northern Africa	6	5
Sub-Saharan Africa	22	15
Latin America and the Caribbean	8	3
Eastern Asia	—	—
Southern Asia	45	33
South-Eastern Asia	—	—
Western Asia	5	4
Oceania	—	—
Caucasus and Central Asia	6	4

(d) By household wealth, 2006-2010^d

(Percentage)

	<i>Poorest quintile</i>	<i>Richest quintile</i>
Developing regions ^e	38	14
Northern Africa	7	4
Sub-Saharan Africa	28	11
Latin America and the Caribbean	—	—
Eastern Asia	—	—
Southern Asia	55	20
South-Eastern Asia	—	—
Western Asia	—	—
Oceania	—	—
Caucasus and Central Asia	7	4

^a The prevalence of underweight children is estimated according to World Health Organization (WHO) child growth standards. The United Nations Children's Fund and WHO have initiated a process to harmonize anthropometric data used for the computation and estimation of regional and global averages and trend analysis.

^b Owing to differences in source data and estimation methodology, these prevalence estimates are not comparable to the averages published in previous editions of the present report.

^c Projections.

^d Data were calculated on the basis of the most recent surveys carried out during the period specified.

^e Excluding China.

Indicator 1.9

Proportion of population below minimum level of dietary energy consumption

(Percentage)

	<i>1990-1992</i>	<i>2000-2002</i>	<i>2010-2012</i>	<i>2014-2016^a</i>
World	18.6	14.9	11.8	10.9
Developing regions	23.3	18.2	14.1	12.9
Northern Africa	<5	<5	<5	<5
Sub-Saharan Africa	33.2	30.0	24.1	23.2
Latin America and the Caribbean	14.7	11.4	6.4	5.5
Caribbean	27.0	24.4	19.8	19.8
Latin America	13.9	10.5	5.5	<5
Eastern Asia	23.2	16.0	11.8	9.6
Eastern Asia excluding China	9.6	14.6	15.1	14.6
Southern Asia	23.9	18.5	16.1	15.7
Southern Asia excluding India	24.5	21.0	17.5	17.0
South-Eastern Asia	30.6	22.3	12.1	9.6
Western Asia	6.4	8.6	8.8	8.4
Oceania	15.7	16.5	13.5	14.2
Caucasus and Central Asia	14.1	15.3	8.9	7.0
Developed regions	<5	<5	<5	<5
Least developed countries	40.0	36.5	27.7	26.7
Landlocked developing countries	35.6	33.6	24.1	22.7
Small island developing States	24.5	22.5	18.2	18.0

^a Projections.

Goal 2

Achieve universal primary education

Target 2.A

Ensure that, by 2015, children everywhere, boys and girls alike, will be able to complete a full course of primary schooling

Indicator 2.1

Net enrolment ratio in primary education^a

(a) Total

(Percentage)

	1991	2000	2005	2015 ^b
World	82.1	85.1	88.7	91.5
Developing regions	79.8	83.5	87.7	91.0
Northern Africa	80.7	89.5	93.9	99.5
Sub-Saharan Africa	53.5	60.3	69.9	79.7
Latin America and the Caribbean	86.0	93.8	94.4	93.6
Caribbean	73.7	81.7	80.1	81.9
Latin America	87.1	94.8	95.6	94.5
Eastern Asia	95.7	95.7	96.4	96.8
Eastern Asia excluding China	96.7	96.7	96.5	97.9
Southern Asia	75.3	80.2	90.2	94.8
Southern Asia excluding India	66.7	68.0	79.5	85.8
South-Eastern Asia	93.3	92.7	92.1	94.3
Western Asia	83.7	86.0	90.2	95.0
Oceania	68.5	—	—	95.4
Caucasus and Central Asia	—	95.0	94.5	94.6
Developed regions	96.3	97.1	96.2	95.8
Least developed countries	53.0	59.6	73.0	84.2
Landlocked developing countries	53.8	63.7	72.1	86.3
Small island developing States	74.2	80.4	77.6	87.4

(b) By sex
(Percentage)

	1991		2000		2015 ^b	
	Boys	Girls	Boys	Girls	Boys	Girls
World	86.6	77.3	87.9	82.1	91.8	91.2
Developing regions	85.1	74.3	86.7	80.1	91.4	90.6
Northern Africa	88.0	73.1	92.5	86.4	99.9	99.1
Sub-Saharan Africa	58.5	48.4	63.9	56.5	82.0	77.4
Latin America and the Caribbean	–	–	94.9	92.7	93.2	94.1
Caribbean	–	–	81.4	82.0	82.3	81.4
Latin America	–	–	96.0	93.6	94.0	95.1
Eastern Asia	98.2	93.1	95.6	95.8	96.7	97.0
Eastern Asia excluding China	96.4	97.0	96.8	96.7	98.2	97.5
Southern Asia	85.2	64.7	86.9	72.9	94.1	95.6
Southern Asia excluding India	74.4	58.5	73.6	62.0	88.1	83.3
South-Eastern Asia	94.7	91.8	93.5	91.8	93.1	95.5
Western Asia	87.8	79.5	90.7	81.1	97.0	92.9
Oceania	72.9	63.8	–	–	96.2	94.6
Caucasus and Central Asia	–	–	95.3	94.7	94.9	94.2
Developed regions	96.1	96.5	97.1	97.1	95.6	96.1
Least developed countries	59.0	46.9	63.5	55.6	86.4	81.9
Landlocked developing countries	60.7	46.9	68.2	59.1	88.5	84.0
Small island developing States	74.8	73.4	81.4	79.4	87.8	87.1

^a Defined as the number of pupils of the theoretical school age for primary education enrolled either in primary or secondary school, expressed as a percentage of the total population in that age group.

^b Projections.

Indicator 2.2

Proportion of pupils starting grade 1 who reach last grade of primary school^{a,b}

(a) Total

	1991 ^b	2000 ^b	2015 ^c
World	70.5	75.3	75.4
Developing regions	67.4	73.0	73.1
Northern Africa	73.9	90.7	96.4
Sub-Saharan Africa	55.7	61.4	58.9
Latin America and the Caribbean	63.9	77.0	76.1
Caribbean	42.4	53.9	–
Latin America	65.5	78.8	77.9
Eastern Asia	89.1	92.6	98.3
Eastern Asia excluding China	82.1	92.7	–

	1991 ^b	2000 ^b	2015 ^c
Southern Asia	56.3	62.2	63.4
Southern Asia excluding India	–	70.3	66.8
South-Eastern Asia	69.3	79.7	89.5
Western Asia	77.4	81.0	79.5
Oceania	57.1	58.5	–
Caucasus and Central Asia	92.2 ^d	96.1	97.4
Developed regions	91.5	93.9	95.5
Least developed countries	44.4	56.6	51.4
Landlocked developing countries	56.4	64.5	50.0
Small island developing States	48.4	57.8	57.5

(b) By sex

	1991 ^b		2000 ^b		2015 ^c	
	Boys	Girls	Boys	Girls	Boys	Girls
World	71.1	69.9	75.0	75.7	74.1	76.8
Developing regions	68.3	66.4	72.8	73.3	71.8	74.5
Northern Africa	76.5	70.8	90.2	91.1	96.8	96.1
Sub-Saharan Africa	57.0	54.3	62.4	60.2	58.2	59.7
Latin America and the Caribbean	61.9	66.1	74.7	79.6	74.7	77.5
Caribbean	–	–	52.1	55.8	–	–
Latin America	63.5	67.7	76.4	81.4	76.6	79.3
Eastern Asia	–	–	94.2	90.9	97.9	98.6
Eastern Asia excluding China	82.3	81.8	92.3	93.0	–	–
Southern Asia	59.0	52.8	62.4	61.9	61.0	66.0
Southern Asia excluding India	–	–	70.4	70.1	63.1	70.8
South-Eastern Asia	67.8	70.9	78.1	81.5	86.8	92.3
Western Asia	78.8	75.7	81.8	80.1	80.6	78.3
Oceania	58.8	55.1	58.1	58.9	47.5	46.1
Caucasus and Central Asia	–	–	97.0	95.1	97.8	97.0
Developed regions	–	–	93.2	94.6	94.6	96.5
Least developed countries	–	–	58.2	54.7	50.0	53.0
Landlocked developing countries	57.1	55.6	65.3	63.6	49.7	50.3
Small island developing States	47.1	49.9	56.2	59.7	56.8	58.3

^a Since there are no regional averages for the official indicator, the table displays the gross intake ratio to the last grade of primary, which corresponds to the “total number of new entrants in the last grade of primary education, regardless of age, expressed as a percentage of the population of the theoretical entrance age to the last grade” (United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO), Institute for Statistics, *Global Education Digest 2009: Comparing Education Statistics Across the World*, annex B.

^b The primary completion rates correspond to school years ending in the years displayed.

^c Projections.

^d Values refer to 1992.

Indicator 2.3

Literacy rate of women and men, aged 15 to 24 years**(a) Total**

(Percentage of the population aged 15 to 24 years who can read and write)

	1990 ^a	2000 ^a	2015 ^b
World	83.2	87.3	91.3
Developing regions	80.0	85.1	90.1
Northern Africa	67.1	79.7	91.3
Sub-Saharan Africa	65.3 ^c	68.7	74.1
Latin America and the Caribbean	93.1 ^c	96.3	98.3
Caribbean	—	91.6	93.5
Latin America	93.3 ^c	96.7	98.7
Eastern Asia	94.6	98.9	99.7
Eastern Asia excluding China	—	—	—
Southern Asia	60.4	73.8	87.4
Southern Asia excluding India	56.4 ^c	67.4	80.8
South-Eastern Asia	91.6	96.3	98.0
Western Asia	87.8	91.6	94.6
Oceania	73.6	74.7	77.0
Caucasus and Central Asia	99.8 ^c	99.8	99.9
Developed regions	—	—	99.7 ^c
Least developed countries	56.9 ^c	65.6	71.3
Landlocked developing countries	63.5	69.1	76.2
Small island developing States	...	88.3	90.4

(b) By sex

(Percentage of the population aged 15 to 24 years who can read and write)

	1990 ^a		2000 ^a		2015 ^b	
	Men	Women	Men	Women	Men	Women
World	87.7	78.6	90.5	84.0	92.8	89.7
Developing regions	85.4	74.5	88.9	81.2	91.8	88.3
Northern Africa	77.1	56.6	85.5	73.8	93.8	88.6
Sub-Saharan Africa	72.8 ^c	58.1 ^c	75.8	62.2	77.9	70.3
Latin America and the Caribbean	92.8 ^c	93.4 ^c	96.0	96.7	98.1	98.5
Caribbean	—	—	91.3	92.0	93.3	93.7
Latin America	92.9 ^c	93.7 ^c	96.3	97.0	98.5	98.9
Eastern Asia	97.1	91.9	99.2	98.6	99.8	99.7
Eastern Asia excluding China	—	—	—	—	—	—
Southern Asia	71.4	48.6	81.3	65.7	90.0	84.6
Southern Asia excluding India	66.0 ^c	46.7 ^c	74.1	60.8	82.9	78.7

	1990 ^a		2000 ^a		2015 ^b	
	<i>Men</i>	<i>Women</i>	<i>Men</i>	<i>Women</i>	<i>Men</i>	<i>Women</i>
South-Eastern Asia	93.4	89.8	96.6	96.0	97.8	98.1
Western Asia	93.8	81.4	95.4	87.7	96.1	92.9
Oceania	78.0	68.9	76.7	72.6	72.1	82.3
Caucasus and Central Asia	99.8 ^c	99.8 ^c	99.8	99.9	99.8	99.9
Developed regions	—	—	—	—	99.7 ^c	99.6 ^c
Least developed countries	65.2 ^c	48.8 ^c	72.6	59.0	73.4	69.2
Landlocked developing countries	69.5	57.8	75.6	63.2	78.6	73.8
Small island developing States	—	—	88.8	87.9	89.5	91.3

^a The regional averages presented in this table are calculated using a weighted average of the latest available observed data point for each country or territory for the reference period. Estimates by the UNESCO Institute for Statistics have been used for countries with missing data.

^b Projections.

^c Partial imputation owing to incomplete country coverage (between 33 and 60 per cent of the population).

Goal 3

Promote gender equality and empower women

Target 3.A

Eliminate gender disparity in primary and secondary education, preferably by 2005, and in all levels of education no later than 2015

Indicator 3.1

Ratios of girls to boys in primary, secondary and tertiary education

(a) Primary education^a

	1991	2000	2015 ^b
World	0.89	0.92	0.98
Developing regions	0.87	0.91	0.98
Northern Africa	0.82	0.91	0.96
Sub-Saharan Africa	0.84	0.85	0.93
Latin America and the Caribbean	0.98	0.96	0.98
Caribbean	0.98	0.98	0.96
Latin America	0.98	0.96	0.98
Eastern Asia	0.92	1.00	0.99
Eastern Asia excluding China	1.00	0.99	0.98
Southern Asia	0.76	0.84	1.03
Southern Asia excluding India	0.76	0.83	0.97
South-Eastern Asia	0.97	0.97	1.01
Western Asia	0.85	0.86	0.94
Oceania	0.90	0.90	–
Caucasus and Central Asia	1.00	0.99	0.99
Developed regions	0.99	0.99	1.00
Least developed countries	0.80	0.85	0.94
Landlocked developing countries	0.83	0.83	0.95
Small island developing States	0.96	0.96	0.95

(b) Secondary education^a

	1991	2000	2015 ^b
World	0.84	0.92	0.98
Developing regions	0.77	0.89	0.98
Northern Africa	0.79	0.95	0.98
Sub-Saharan Africa	0.77	0.81	0.87
Latin America and the Caribbean	1.07	1.06	1.07
Caribbean	–	1.06	1.04
Latin America	1.07	1.06	1.07

	1991	2000	2015 ^b
Eastern Asia	0.77	0.94	1.01
Eastern Asia excluding China	0.97	0.99	0.99
Southern Asia	0.61	0.76	0.98
Southern Asia excluding India	0.63	0.88	0.94
South-Eastern Asia	0.90	0.97	1.02
Western Asia	0.66	0.76	0.95
Oceania	—	0.89	0.86
Caucasus and Central Asia	0.98	0.99	0.97
Developed regions	1.02	1.01	0.99
Least developed countries	0.60	0.79	0.90
Landlocked developing countries	0.87	0.84	0.90
Small island developing States	1.06	1.03	1.01

(c) Tertiary education^a

	1991	2000	2015 ^b
World	0.91	1.00	1.08
Developing regions	0.71	0.85	1.01
Northern Africa	0.69	0.83	1.20
Sub-Saharan Africa	0.54	0.67	0.62
Latin America and the Caribbean	0.98	1.19	1.29
Caribbean	1.36	1.42	—
Latin America	0.95	1.17	1.29
Eastern Asia	0.51	0.69	1.15
Eastern Asia excluding China	0.54	0.66	0.87
Southern Asia	0.50	0.66	0.82
Southern Asia excluding India	0.40	0.69	0.89
South-Eastern Asia	0.96	1.03	1.08
Western Asia	0.63	0.77	0.99
Oceania	—	0.84	—
Caucasus and Central Asia	0.99	0.97	1.05
Developed regions	1.10	1.21	1.29
Least developed countries	0.43	0.61	0.64
Landlocked developing countries	0.83	0.85	0.71
Small island developing States	1.25	1.34	—

^a Using gross enrolment ratios.^b Projections.

Indicator 3.2

Share of women in wage employment in the non-agricultural sector

(Percentage of employees)

	1990	2000	2005	2013
World	35.4	37.6	38.5	39.9
Developing regions	29.2	31.8	32.8	34.7
Northern Africa	19.1	18.8	18.7	19.6
Sub-Saharan Africa	23.6	27.8	29.6	32.9
Latin America and the Caribbean	38.1	41.8	43.2	44.0
Eastern Asia	38.1	39.7	40.9	42.7
Eastern Asia excluding China	40.1	42.2	43.9	45.5
Southern Asia	13.5	17.2	18.1	20.1
Southern Asia excluding India	15.5	18.5	18.0	18.6
South-Eastern Asia	34.7	36.8	36.8	39.2
Western Asia	15.3	17.3	18.1	20.6
Oceania	32.8	35.6	36.2	38.7
Caucasus and Central Asia	42.8	43.1	43.8	44.2
Developed regions	44.7	46.2	47.0	47.8

Indicator 3.3

Proportion of seats held by women in national parliament^a

(Percentage in single or lower houses only)

	1990	2000	2010	2015
World	12.8	13.8	19.2	22.4
Developing regions	12.0	12.5	17.8	21.1
Northern Africa ^b	1.8	3.9	11.4	24.6
Sub-Saharan Africa	9.6	12.6	18.4	22.7
Latin America and the Caribbean	11.9	15.2	22.7	27.4
Caribbean	22.1	20.6	29.4	33.1
Latin America	8.6	13.2	20.1	25.1
Eastern Asia	20.2	19.9	19.5	21.7
Eastern Asia excluding China	17.8	14.6	14.5	16.2
Southern Asia	5.7	6.8	18.2	17.6
Southern Asia excluding India	5.9	5.9	20.1	19.1
South-Eastern Asia	10.4	12.3	19.3	17.8
Western Asia	4.5	4.2	8.8	12.4
Oceania	1.2	3.6	2.5	4.4
Caucasus and Central Asia	—	7.0	15.1	17.9
Developed regions	16.1	16.3	22.5	25.6
Least developed countries	8.8	9.9	19.3	21.7
Landlocked developing countries	14.2	7.8	21.6	24.9
Small island developing States	15.2	14.0	20.5	23.3

^a As at 31 January 2015.^b Egypt is not included in the Northern Africa regional aggregates because no parliament data was available for 2015.

Goal 4

Reduce child mortality

Target 4.A

Reduce by two thirds, between 1990 and 2015, the under-5 mortality rate

Indicator 4.1

Under-5 mortality rate^a

	1990	2000	2013
World	90	76	45
Developing regions	100	83	50
Northern Africa	73	44	25
Sub-Saharan Africa	179	156	92
Latin America and the Caribbean	54	32	18
Eastern Asia	53	37	13
Eastern Asia excluding China	27	31	14
Southern Asia	126	92	55
Southern Asia excluding India	126	94	60
South-Eastern Asia	71	48	29
Western Asia	65	43	25
Oceania	74	67	54
Caucasus and Central Asia	73	64	35
Developed regions	15	10	6
Least developed countries	173	138	79

^a Number of children who died before reaching the age of 5, per 1,000 live births.

Indicator 4.2

Infant mortality rate^a

	1990	2000	2013
World	63	53	33
Developing regions	69	58	37
Northern Africa	56	37	21
Sub-Saharan Africa	107	95	61
Latin America and the Caribbean	43	27	15
Eastern Asia	42	30	11
Eastern Asia excluding China	21	24	12
Southern Asia	89	68	43
Southern Asia excluding India	92	71	48
South-Eastern Asia	52	37	24

	1990	2000	2013
Western Asia	49	33	20
Oceania	55	50	42
Caucasus and Central Asia	59	53	31
Developed regions	12	8	5
Least developed countries	108	88	55

^a Number of children who died before reaching the age of 1, per 1,000 live births.

Indicator 4.3

Proportion of 1-year-old children immunized against measles^a

(Percentage)

	1990	2000	2013
World	73	73	84
Developing regions	72	71	83
Northern Africa	84	93	96
Sub-Saharan Africa	56	53	74
Latin America	77	95	92
Caribbean	64	77	79
Eastern Asia	98	84	99
Southern Asia	57	62	76
South-Eastern Asia	70	82	89
Western Asia	79	86	83
Oceania	70	67	73
Caucasus and Central Asia	—	93	97
Developed regions	84	92	93

^a Children aged 12 to 23 months who received at least one dose of measles vaccine.

Goal 5

Improve maternal health

Target 5.A

Reduce by three quarters, between 1990 and 2015, the maternal mortality ratio

Indicator 5.1

Maternal mortality ratio^a

	1990	2000	2013
World	380	330	210
Developing regions	430	370	230
Northern Africa	160	110	69
Sub-Saharan Africa	990	830	510
Latin America and the Caribbean	140	110	85
Caribbean	300	230	190
Latin America	130	98	77
Eastern Asia	95	63	33
Eastern Asia excluding China	47	66	54
Southern Asia	530	360	190
Southern Asia excluding India	450	350	170
South-Eastern Asia	320	220	140
Western Asia	130	97	74
Oceania	390	290	190
Caucasus and Central Asia	70	65	39
Developed regions	26	17	16

^a Number of maternal deaths per 100,000 live births.

Indicator 5.2

Proportion of births attended by skilled health personnel

(Percentage)

	1990	2000	2014
World	59	61	71
Developing regions	57	60	70
Northern Africa	47	69	90
Sub-Saharan Africa	43	45	52
Latin America and the Caribbean ^a	81	88	92
Eastern Asia	94	97	100
Southern Asia	32	38	52
Southern Asia excluding India	26	25	52
South-Eastern Asia	49	66	82

	1990	2000	2014
Western Asia	62	72	86
Oceania	–	–	–
Caucasus and Central Asia	97	89	96
Developed regions	–	–	–

^a Including only deliveries in health-care institutions.

Target 5.B

Achieve, by 2015, universal access to reproductive health

Indicator 5.3

Contraceptive prevalence rate^{a,b}

(Percentage of women aged 15 to 49 years, married or in union, who are using any method of contraception)

	1990	2000	2013
World	55.3	61.5	63.4
Developing regions	51.8	59.7	62.5
Northern Africa	43.5	57.8	60.6
Sub-Saharan Africa	12.6	18.7	26.6
Latin America and the Caribbean	61.3	69.9	72.8
Caribbean	54.4	59.4	62.3
Latin America	61.8	70.7	73.5
Eastern Asia	78.2	85.7	83.4
Eastern Asia excluding China	72.5	75.8	74.7
Southern Asia	39.1	48.2	57.6
Southern Asia excluding India	31.1	46.3	54.4
South-Eastern Asia	48.4	57.2	63.6
Western Asia	43.7	50.5	57.5
Oceania	28.5	31.6	37.7
Caucasus and Central Asia	49.3	57.6	56.0
Developed regions	68.4	70.1	69.7
Least developed countries	16.2	26.7	37.8
Landlocked developing countries	22.2	28.7	38.7
Small island developing States	49.7	53.3	56.0

^a The averages are based on the data available as at 31 March 2015.

^b Data available prior to 1990 have been used to estimate the regional averages.

Indicator 5.4

Adolescent birth rate^{a,b}

(Number of live births per 1,000 adolescent women aged 15 to 19)

	1990	2000	2012
World	58.8	51.6	51.0
Developing regions	63.7	56.1	55.7
Northern Africa	42.3	32.3	36.8
Sub-Saharan Africa	123.3	120.7	117.8
Latin America and the Caribbean	85.8	86.2	75.5
Caribbean	79.9	78.8	65.5
Latin America	86.3	86.7	76.2
Eastern Asia	15.3	5.8	6.0
Eastern Asia excluding China	4.0	3.2	3.2
Southern Asia	87.6	60.8	50.0
Southern Asia excluding India	117.7	83.2	76.1
South-Eastern Asia	54.2	43.4	44.9
Western Asia	62.9	50.5	44.7
Oceania	84.1	64.5	58.5
Caucasus and Central Asia	44.6	28.5	32.7
Developed regions	33.7	25.5	18.1
Least developed countries	130.8	117.8	112.9
Landlocked developing countries	107.4	105.8	96.4
Small island developing States	77.2	72.7	60.3

^a The averages are based on the data available as at 31 March 2015.^b Data available prior to 1990 have been used to estimate the regional averages.

Indicator 5.5

Antenatal care coverage (at least one visit and at least four visits)**(a) At least one visit^a**

(Percentage)

	1990	2000	2014
Developing regions	64	72	83
Northern Africa	50	58	89
Sub-Saharan Africa	68	72	80
Latin America and the Caribbean	75	92	97
Caribbean	84	88	95
Latin America	75	93	97
Eastern Asia	70	89	95
Southern Asia	53	57	72
Southern Asia excluding India	25	40	64
South-Eastern Asia	79	89	96

	1990	2000	2014
Western Asia	53	62	85
Oceania	–	–	–
Caucasus and Central Asia	–	–	–
Least developed countries	49	58	79

At least one visit (subregions of Africa)^b

(Percentage)

	1990	2000	2014
Central Africa	59	62	72
Eastern Africa	76	73	89
North Africa	50	63	89
Southern Africa	86	87	95
West Africa	59	67	72

(b) At least four visits^a

(Percentage)

	1990	2000	2014
Developing regions	35	42	52
Northern Africa	19	35	75
Sub-Saharan Africa	47	47	49
Latin America and the Caribbean	70	82	89
Eastern Asia	–	–	–
Southern Asia	23	27	36
Southern Asia excluding India	10	20	34
South-Eastern Asia	45	71	84
Western Asia	–	–	–
Oceania	–	–	–
Caucasus and Central Asia	–	–	–
Least developed countries	26	32	41

^a Defined as the percentage of women aged 15 to 49 years who received antenatal care during pregnancy from skilled health personnel.

^b Based on the subregional classification adopted by the Economic Commission for Africa.

Indicator 5.6

Unmet need for family planning^{a,b}

(Percentage of women aged 15 to 49, married or in union, who have an unmet need for family planning)

	1990	2000	2013
World	15.1	12.7	11.9
Developing regions	16.4	13.4	12.2
Northern Africa	22.0	13.7	12.3
Sub-Saharan Africa	27.5	26.4	24.5
Latin America and the Caribbean	17.2	12.7	10.6
Caribbean	19.1	17.9	16.4
Latin America	17.0	12.3	10.2
Eastern Asia	5.6	3.1	3.9
Southern Asia	21.4	17.6	14.1
Southern Asia excluding India	25.3	20.2	15.7
South-Eastern Asia	18.6	15.4	11.9
Western Asia	21.5	19.2	14.6
Oceania	27.8	27.1	24.9
Caucasus and Central Asia	18.0	14.1	14.2
Developed regions	10.2	9.5	9.7
Least developed countries	28.9	26.5	22.6
Landlocked developing countries	26.9	26.1	22.6
Small island developing States	20.0	19.2	18.0

^a The averages are based on the data available as at 31 March 2015.^b Data available prior to 1990 have been used to estimate the regional averages.

Goal 6

Combat HIV/AIDS, malaria and other diseases

Target 6.A

Have halted by 2015 and begun to reverse the spread of HIV/AIDS

Indicator 6.1

HIV prevalence among population aged 15 to 24 years

(a) HIV incidence rates^{a,b}

(Number of new HIV infections per year per 100 people aged 15 to 49 years)

	2001	2013
World	0.09 (0.08:0.09)	0.05 (0.04:0.06)
Developing regions	0.10 (0.07:0.14)	0.05 (0.01:0.12)
Northern Africa	0.01 (0.00:0.01)	0.01 (0.00:0.01)
Sub-Saharan Africa	0.68 (0.64:0.70)	0.29 (0.26:0.32)
Latin America and the Caribbean	0.04 (0.02:0.06)	0.03 (0.00:0.06)
Caribbean	0.12 (0.10:0.15)	0.06 (0.04:0.06)
Latin America	0.03 (0.02:0.05)	0.03 (0.00:0.06)
Eastern Asia	0.01 (0.01:0.01)	0.01 (0.00:0.02)
Southern Asia	0.03 (0.02:0.05)	0.02 (0.00:0.03)
South-Eastern Asia (including Oceania)	0.04 (0.03:0.06)	0.03 (0.01:0.08)
Western Asia	0.00 (0.00:0.00)	0.00 (0.00:0.01)
Caucasus and Central Asia	0.03 (0.02:0.03)	0.02 (0.01:0.02)
Developed regions	0.03 (0.02:0.04)	0.03 (0.01:0.05)

HIV incidence rates (subregions of Africa)^c

(Number of new HIV infections per year per 100 people aged 15 to 49 years)

	2001	2013
Central Africa	0.67 (0.61:0.73)	0.25 (0.21:0.29)
Eastern Africa	0.38 (0.34:0.42)	0.20 (0.17:0.24)
North Africa	0.01 (0.01:0.02)	0.01 (0.01:0.02)
Southern Africa	2.15 (2.06:2.23)	0.95 (0.88:1.04)
West Africa	0.38 (0.35:0.42)	0.14 (0.12:0.17)

(b) HIV prevalence among population aged 15 to 24 years^d

(Percentage)

	1990		2001		2013	
	<i>Estimated adult HIV prevalence (people aged 15 to 49)</i>	<i>Women over 15 living with HIV</i>	<i>Estimated adult HIV prevalence (people aged 15 to 49)</i>	<i>Women over 15 living with HIV</i>	<i>Estimated adult HIV prevalence (people aged 15 to 49)</i>	<i>Women over 15 living with HIV</i>
World	0.3	43	0.8	50	0.8	50
Developing regions	0.3	48	0.9	52	0.8	53
Northern Africa	<0.1	54	<0.1	55	<0.1	39
Sub-Saharan Africa	2.3	53	5.7	58	4.4	59
Latin America and the Caribbean	0.3	30	0.5	34	0.5	33
Caribbean	1.0	48	1.4	51	1.1	52
Latin America	0.3	25	0.4	30	0.4	30
Eastern Asia	<0.1	23	0.1	27	0.1	29
Eastern Asia excluding China	<0.1	29	<0.1	29	<0.1	29
Southern Asia	<0.1	29	0.3	35	0.2	38
Southern Asia excluding India	<0.1	37	<0.1	19	0.1	28
South-Eastern Asia including Oceania	0.1	11	0.4	31	0.5	38
Western Asia	<0.1	21	<0.1	21	<0.1	28
Oceania	<0.1	37	0.6	55	0.6	57
Caucasus and Central Asia	<0.1	37	0.1	27	0.2	29
Developed regions	0.2	19	0.3	24	0.4	26
Least developed countries	1.6	52	2.4	57	1.9	58
Landlocked developing countries	2.8	52	4.2	57	2.8	57
Small island developing States	0.7	48	1.2	51	1.0	52

^a "HIV prevalence among population aged 15 to 24 years" was chosen as a proxy indicator for the incidence rate when the indicators for the United Nations Millennium Declaration were developed. However, the estimated incidence rate among people aged 15 to 49 years is now available for all regions and from 60 countries. The HIV incidence rate is therefore presented here together with HIV prevalence data among people aged 15 to 49 years.

^b Lower and upper bounds in parentheses.

^c Based on the subregional classification adopted by the Economic Commission for Africa.

^d Trend data for the indicator 6.1 are available for only 35 countries, almost all in sub-Saharan Africa, and are therefore not presented here.

Indicator 6.2

Condom use at last high-risk sex,^a 2009-2014^b

	<i>Women</i>		<i>Men</i>	
	<i>Number of countries covered by the surveys</i>	<i>Percentage who used a condom at last high-risk sex</i>	<i>Number of countries covered by the surveys</i>	<i>Percentage who used a condom at last high-risk sex</i>
Sub-Saharan Africa	37	37.2	33	54.6
Southern Asia	2	22.2	2	37.1

^a Percentage of women and men aged 15 to 24 years reporting the use of a condom during sexual intercourse with a non-regular (non-marital and non-cohabiting) sexual partner in the past 12 months, among those who had such a partner in the past 12 months.

^b Data were calculated on the basis of the most recent surveys carried out during the period specified.

Indicator 6.3

Proportion of population aged 15 to 24 years with comprehensive correct knowledge of HIV/AIDS,^a 2009-2014^b

	<i>Women</i>		<i>Men</i>	
	<i>Number of countries covered by the surveys</i>	<i>Percentage who have comprehensive knowledge</i>	<i>Number of countries covered by the surveys</i>	<i>Percentage who have comprehensive knowledge</i>
Sub-Saharan Africa	43	27.3	38	34.8
Southern Asia	8	16.9	4	30.1
Southern Asia (excluding India)	7	9.8	3	11.0
South-Eastern Asia	7	27.1	5	20.8

^a Percentage of women and men aged 15 to 24 years who correctly identify the two major ways of preventing the sexual transmission of HIV (using condoms and limiting sex to one faithful, uninfected partner), reject two common local misconceptions and know that a healthy-looking person can transmit HIV.

^b Data were calculated on the basis of the most recent surveys carried out during the period specified.

Indicator 6.4

Ratio of school attendance of orphans to school attendance of non-orphans aged 10 to 14 years,^a 2009-2014^b

	<i>Number of countries with data</i>	<i>Ratio of school attendance of orphans to school attendance of non-orphans</i>
Sub-Saharan Africa	37	0.96
Southern Asia	4	0.74
Southern Asia (excluding India)	3	0.82

^a Ratio of the current school attendance rate of children aged 10 to 14 years whose two biological parents have died to that of children aged 10 to 14 years whose two parents are still alive and who currently live with at least one biological parent.

^b Data were calculated on the basis of the most recent surveys carried out during the period specified.

Target 6.B
Achieve, by 2010, universal access to treatment for HIV/AIDS for all those who need it

Indicator 6.5

Proportion of all population living with HIV infection with access to antiretroviral drugs^a

(Percentage)

	2010	2013
World ^b	22 (21:23)	37 (35:39)
Developing regions	45 (37:52)	36 (34:38)
Northern Africa	12 (9:16)	19 (14:28)
Sub-Saharan Africa	19 (18:20)	37 (35:38)
Latin America and the Caribbean	34 (27:38)	44 (35:49)
Caribbean	26 (23:30)	41 (36:46)
Latin America	35 (28:39)	45 (35:50)
Eastern Asia	11 (10:12)	29 (27:33)
Southern Asia	17 (16:20)	34 (31:38)
Southern Asia excluding India	6 (5:7)	10 (9:11)
South-Eastern Asia including Oceania	23 (21:26)	31 (28:35)
Western Asia	21 (19:24)	29 (26:32)
Caucasus and Central Asia	6 (6:7)	19 (17:22)
Least developed countries	20 (19:21)	36 (34:40)
Landlocked developing countries	26 (25:27)	44 (41:46)
Small island developing States	24 (23:26)	38 (36:40)

^a “Proportion of population with advanced HIV infection with access to antiretroviral drugs” was chosen when the indicators for the United Nations Millennium Declaration were developed. According to the new HIV-treatment guidelines provided by the World Health Organization in 2013, this indicator was revised to antiretroviral treatment coverage among all people living with HIV.

^b Including only low- and middle-income economies, as defined by the World Bank.

Target 6.C
Have halted by 2015 and begun to reverse the incidence of malaria and other major diseases

Indicator 6.6
Incidence and death rates associated with malaria

(a) Incidence

(Number of new cases per 1,000 people)^a

	2015
Northern Africa	0
Sub-Saharan Africa	240
Latin America and the Caribbean	8
Eastern Asia	0
Southern Asia	18
South-Eastern Asia	26
Western Asia	25
Oceania	154
Caucasus and Central Asia	0
Least developed countries	172
Landlocked developing countries	191
Small island developing States	68

(b) Deaths

(Number of deaths per 100,000 people)^a

	2015
Northern Africa	0
Sub-Saharan Africa	55
Latin America and the Caribbean	1
Eastern Asia	0
Southern Asia	3
South-Eastern Asia	4
Western Asia	6
Oceania	35
Caucasus and Central Asia	0
Least developed countries	42
Landlocked developing countries	46
Small island developing States	18

^a For populations at risk of malaria in malaria-endemic countries.

Indicator 6.7

Proportion of children under 5 sleeping under insecticide-treated bednets, 2010-2014^a**(a) Total^b**

(Percentage)

Sub-Saharan Africa (38 countries)	37
-----------------------------------	----

(b) By residence^b

(Percentage)

	<i>Urban</i>	<i>Rural</i>
Sub-Saharan Africa (37 countries)	37	38

^a Data were calculated on the basis of the most recent surveys carried out during the period specified.

^b Calculation includes data available as at February 2014.

Indicator 6.8

Proportion of children under 5 with fever who are treated with appropriate antimalarial drugs, 2010-2014^a**(a) Total^b**

(Percentage)

Sub-Saharan Africa (40 countries)	37
-----------------------------------	----

(b) By residence^b

(Percentage)

	<i>Urban</i>	<i>Rural</i>
Sub-Saharan Africa (36 countries)	40	34

^a Data were calculated on the basis of the most recent surveys carried out during the period specified.

^b Calculation includes data available as at April 2015.

Indicator 6.9

Incidence, prevalence and death rates associated with tuberculosis**(a) Incidence**(Number of new cases per 100,000 people, including those who are living with HIV)^a

	1990	2002	2013
World	151 (144:158)	151 (148:153)	126 (121:131)
Developing regions	184 (176:193)	177 (174:181)	148 (142:154)
Northern Africa	64 (59:70)	55 (53:57)	50 (46:54)
Sub-Saharan Africa	278 (252:304)	346 (330:362)	282 (252:311)
Latin America and the Caribbean	84 (77:91)	56 (55:58)	44 (42:46)
Caribbean	95 (82:107)	91 (86:95)	70 (64:77)
Latin America	83 (76:91)	54 (52:55)	42 (40:45)
Eastern Asia	157 (138:175)	106 (101:111)	78 (72:83)
Southern Asia	212 (194:229)	210 (203:217)	179 (168:190)
South-Eastern Asia	259 (237:282)	242 (234:249)	205 (193:216)
Western Asia	53 (49:57)	39 (37:40)	24 (23:25)
Oceania	242 (196:288)	265 (237:293)	266 (209:324)
Caucasus and Central Asia	113 (105:122)	212 (195:228)	94 (84:105)
Developed regions	30 (29:31)	38 (37:39)	24 (23:25)
Least developed countries	289 (270:308)	280 (273:288)	223 (215:231)
Landlocked developing countries	262 (238:286)	299 (286:312)	178 (168:189)
Small island developing States	115 (104:126)	123 (118:129)	115 (104:125)

(b) Prevalence(Number of existing cases per 100,000 people, including those who are living with HIV)^a

	1990	2002	2013
World	267 (250:286)	240 (223:258)	159 (143:176)
Developing regions	332 (309:354)	286 (265:307)	188 (169:208)
Northern Africa	111 (73:149)	78 (51:106)	72 (47:97)
Sub-Saharan Africa	426 (373:480)	385 (343:426)	309 (272:347)
Latin America and the Caribbean	137 (106:169)	76 (59:93)	58 (44:72)
Caribbean	163 (103:223)	121 (74:169)	87 (50:124)
Latin America	135 (101:169)	72 (54:90)	56 (42:70)
Eastern Asia	221 (206:236)	165 (143:187)	103 (89:118)
Southern Asia	445 (397:494)	401 (349:453)	235 (178:292)
South-Eastern Asia	572 (430:713)	473 (364:582)	298 (231:366)
Western Asia	71 (48:95)	52 (36:67)	33 (22:43)
Oceania	519 (233:805)	413 (214:612)	341 (142:540)
Caucasus and Central Asia	221 (153:289)	378 (265:492)	127 (91:163)
Developed regions	44 (35:53)	53 (38:68)	30 (21:39)
Least developed countries	535 (439:631)	432 (362:501)	314 (265:362)
Landlocked developing countries	376 (321:431)	351 (308:395)	203 (180:226)
Small island developing States	211 (153:269)	178 (133:222)	149 (107:190)

(c) Deaths(Number of deaths per 100,000 people, excluding those who are living with HIV)^a

	1990	2002	2013
World	29 (26:32)	26 (23:29)	16 (14:18)
Developing regions	36 (32:40)	30 (27:34)	18 (15:20)
Northern Africa	6.9 (1.6:12)	6.4 (1.1:12)	5.4 (1.3:9.5)
Sub-Saharan Africa	73 (62:83)	59 (53:66)	43 (32:54)
Latin America and the Caribbean	8.3 (6.7:9.8)	4.9 (4.5:5.4)	2.7 (2.2:3.1)
Caribbean	14 (8.8:20)	17 (12:22)	8.1 (4.8:11)
Latin America	7.8 (6.2:9.4)	4 (3.7:4.3)	2.3 (1.9:2.7)
Eastern Asia	20 (18:22)	9 (7.7:10)	3.5 (3.2:3.8)
Southern Asia	43 (32:55)	43 (32:53)	23 (16:29)
South-Eastern Asia	67 (57:78)	53 (46:60)	26 (20:31)
Western Asia	8.1 (4.9:11)	4.2 (3:5.4)	1.7 (0.74:2.6)
Oceania	74 (54:95)	46 (33:59)	25 (2.4:48)
Caucasus and Central Asia	9.8 (9.2:10)	20 (19:22)	8.7 (8.1:9.4)
Developed regions	3 (3:3.1)	4.7 (4.6:4.8)	2.6 (2.6:2.7)
Least developed countries	83 (74:92)	60 (55:65)	36 (32:40)
Landlocked developing countries	52 (44:60)	43 (38:48)	21 (18:25)
Small island developing States	23 (18:27)	22 (18:26)	13 (8.9:18)

^a Lower and upper bounds in parentheses.

Indicator 6.10

Proportion of tuberculosis cases detected and cured under directly observed treatment short course**(a) New cases detected under directly observed treatment short course (DOTS)**(DOTS smear-positive case detection rate: percentage)^a

	1990	2002	2013
World	47 (45:49)	43 (43:44)	64 (61:66)
Developing regions	45 (43:48)	42 (41:43)	63 (61:66)
Northern Africa	57 (53:63)	79 (76:82)	73 (68:79)
Sub-Saharan Africa	29 (26:32)	42 (40:44)	51 (46:57)
Latin America and the Caribbean	54 (50:59)	71 (70:73)	77 (73:81)
Caribbean	11 (10:13)	50 (48:53)	78 (71:86)
Latin America	58 (54:64)	74 (72:76)	77 (73:81)
Eastern Asia	23 (21:26)	38 (36:39)	87 (82:94)
Southern Asia	70 (64:76)	40 (39:41)	58 (54:62)
South-Eastern Asia	45 (42:50)	40 (39:41)	73 (69:77)
Western Asia	80 (75:87)	80 (77:83)	76 (73:81)
Oceania	26 (22:32)	56 (50:62)	87 (71:110)
Caucasus and Central Asia	43 (40:46)	48 (45:52)	87 (78:97)
Developed regions	77 (75:79)	73 (71:74)	87 (80:88)
Least developed countries	24 (22:26)	40 (39:41)	59 (57:61)
Landlocked developing countries	35 (32:39)	48 (46:50)	63 (59:66)
Small island developing States	21 (19:23)	53 (50:55)	76 (69:84)

^a Lower and upper bounds in parentheses.

(b) Patients successfully treated under directly observed treatment short course

(Percentage)

	1994	2002	2012
World	75	76	86
Developing regions	75	76	87
Northern Africa	80	88	88
Sub-Saharan Africa	60	73	81
Latin America and the Caribbean	65	81	74
Caribbean	74	76	81
Latin America	65	82	73
Eastern Asia	88	92	94
Southern Asia	74	64	88
South-Eastern Asia	82	86	87
Western Asia	72	78	83
Oceania	61	64	75
Caucasus and Central Asia	73 ^a	78	85
Developed regions	68	72	71
Least developed countries	66	78	86
Landlocked developing countries	57	73	83
Small island developing States	67	74	79

^a 1995 data.

Goal 7

Ensure environmental sustainability

Target 7.A

Integrate the principles of sustainable development into country policies and programmes and reverse the loss of environmental resources

Indicator 7.1

Proportion of land area covered by forest

(Percentage)

	1990	2000	2010
World	32.0	31.4	31.0
Developing regions	29.4	28.2	27.6
Northern Africa	1.4	1.4	1.4
Sub-Saharan Africa	31.2	29.5	28.1
Latin America and the Caribbean	52.0	49.6	47.4
Caribbean	25.8	28.1	30.3
Latin America	52.3	49.9	47.6
Eastern Asia	16.4	18.0	20.5
Eastern Asia excluding China	15.2	14.0	12.8
Southern Asia	14.1	14.1	14.5
Southern Asia excluding India	7.8	7.3	7.1
South-Eastern Asia	56.9	51.3	49.3
Western Asia	2.8	2.9	3.3
Oceania	67.5	65.1	62.5
Caucasus and Central Asia	3.9	3.9	3.9
Developed regions	36.3	36.6	36.7
Least developed countries	32.7	31.0	29.6
Landlocked developing countries	19.3	18.2	17.1
Small island developing States	64.6	63.7	62.7

Note: The latest available update was in July 2010.

Indicator 7.2

Carbon dioxide emissions, total, per capita and per \$1 GDP (PPP)**(a) Total^a**

(Millions of tons)

	1990	2000	2005	2011
World	21 995	23 807	27 771	32 425
Developing regions	7 190	9 935	13 505	19 064
Northern Africa	228	330	395	464
Sub-Saharan Africa	448	554	632	751
Latin America and the Caribbean	1 005	1 330	1 474	1 746
Caribbean	84	98	105	138
Latin America	921	1 232	1 370	1 608
Eastern Asia	2 991	3 979	6 387	9 743
Eastern Asia excluding China	531	574	597	724
Southern Asia	993	1 709	2 072	2 915
Southern Asia excluding India	303	522	661	841
South-Eastern Asia	423	7 734	999	1 397
Western Asia	1 094	924	1 148	1 541
Oceania	6	7	11	12
Caucasus and Central Asia ^b	501	328	387	495
Developed regions	14 805	13 872	14 266	13 361
Least developed countries	65	105	149	216
Landlocked developing countries	50	400	461	600
Small island developing States	139	159	151	178
Annex I countries ^{c,d,e}	15 006	14 446	14 915	14 038

(b) Per capita

(Tons)

	1990	2000	2005	2011
World	4.17	3.92	4.30	4.68
Developing regions	1.77	2.04	2.58	3.36
Northern Africa	1.91	2.34	2.61	2.79
Sub-Saharan Africa	0.92	0.87	0.86	0.87
Latin America and the Caribbean	2.26	2.54	2.63	2.90
Caribbean	2.56	2.69	2.72	3.42
Latin America	2.24	2.52	2.62	2.87
Eastern Asia	2.42	2.93	4.57	6.71
Eastern Asia excluding China	7.42	7.31	7.39	8.64
Southern Asia	0.83	1.18	1.32	1.71
Southern Asia excluding India	0.94	1.29	1.49	1.74
South-Eastern Asia	0.96	1.48	1.78	2.31
Western Asia	7.90	5.75	6.32	7.29
Oceania	0.94	0.92	1.18	1.24
Caucasus and Central Asia ^b	7.40	4.63	5.24	6.25

	1990	2000	2005	2011
Developed regions	12.15	11.63	11.72	10.66
Least developed countries	0.13	0.17	0.21	0.27
Landlocked developing countries	0.26	1.23	1.26	1.43
Small island developing States	3.06	3.03	2.62	2.88
Annex I countries ^{c,d,e}	12.07	11.72	11.84	10.83

(c) Per \$1 GDP (2011 United States dollars (PPP))

(Kilograms)

	1990	2000	2005	2011
World	0.41	0.38	0.37	0.35
Developing regions	0.42	0.40	0.41	0.40
Northern Africa	0.26	0.29	0.28	0.27
Sub-Saharan Africa	0.36	0.37	0.31	0.26
Latin America and the Caribbean	0.22	0.22	0.21	0.20
Caribbean	0.31	0.32	0.26	0.29
Latin America	0.22	0.22	0.21	0.20
Eastern Asia	1.14	0.66	0.70	0.61
Eastern Asia excluding China	0.41	0.40	0.33	0.32
Southern Asia	0.38	0.40	0.36	0.34
Southern Asia excluding India	0.28	0.32	0.31	0.31
South-Eastern Asia	0.23	0.26	0.26	0.27
Western Asia	0.29	0.32	0.33	0.33
Oceania	0.27	0.23	0.32	0.28
Caucasus and Central Asia ^b	1.43	1.07	0.81	0.65
Developed regions	0.40	0.37	0.34	0.30
Least developed countries	0.10	0.12	0.13	0.14
Landlocked developing countries	0.19	0.61	0.49	0.42
Small island developing States	0.34	0.28	0.20	0.18
Annex I countries ^{c,d,e}	0.42	0.39	0.35	0.31

Note: The latest available update was in July 2015.

^a Total carbon dioxide emissions from fossil fuels (expressed in millions of tons) include emissions from solid fuel consumption, liquid fuel consumption, gas fuel consumption, cement production and gas flaring (Carbon Dioxide Information Analysis Center).

^b The 1990 column shows 1992 data.

^c Including all annex I countries that report under the United Nations Framework Convention on Climate Change. Countries that are not listed in annex I do not have annual reporting obligations.

^d National reporting to the United Nations Framework Convention on Climate Change that follows the Intergovernmental Panel on Climate Change guidelines is based on national emission inventories and covers all sources of anthropogenic carbon dioxide emissions. It can be calculated as the sum of emissions for the sectors of energy, industrial processes, agriculture and waste.

^e Excluding emissions and removals from land use, land-use change and forestry.

Indicator 7.3

Consumption of ozone-depleting substances

(Consumption of all ozone-depleting substances in tons of ozone-depletion potential)

	1986	1990 ^a	2000	2013
World	1 774 954	1 211 193	263 241	29 219
Developing regions	285 496	241 670	209 605	30 448
Northern Africa	14 214	6 203	8 129	636
Sub-Saharan Africa	36 408	23 451	9 597	1 371
Latin America and the Caribbean	78 663	76 048	31 104	3 851
Caribbean	2 216	2 177	1 669	99
Latin America	76 448	73 871	29 435	3 752
Eastern Asia	103 445	103 217	105 762	17 675
Eastern Asia excluding China	25 436	12 904	14 885	1 985
Southern Asia	13 473	3 338	28 161	1 661
Southern Asia excluding India	6 159	3 338	9 466	705
South-Eastern Asia	17 926	21 108	16 831	2 149
Western Asia	21 254	8 258	9 891	3 093
Oceania	113	47	129	11
Caucasus and Central Asia	11 607	2 738	928	127
Developed regions	1 477 850	966 784	52 708	-1 356
Least developed countries	3 551	1 458	4 812	568
Landlocked developing countries	14 678	3 355	2 395	296
Small island developing States	9 419	7 162	2 147	244

^a For years prior to the entry into force of the reporting requirement for a group of substances, missing country consumption values have been estimated at the base-year level. This applies to substances in annexes B, C and E to the Montreal Protocol on Substances that Deplete the Ozone Layer; annexes B and C entered into force in 1992 and annex E in 1994.

Indicator 7.4

Proportion of fish stocks within safe biological limits

(Percentage)

	1990	2000	2009
Non-fully exploited	31.3	25.4	12.7
Fully exploited	50.0	47.2	57.4
Overexploited	18.6	27.4	29.9

Indicator 7.5

Proportion of total water resources used^a

(Percentage)

	<i>around 2011</i>
World	8.8
Developing regions	9.1
Northern Africa	78.3
Sub-Saharan Africa	3.0
Latin America and the Caribbean	2.3
Caribbean	19.5
Latin America	2.2
Eastern Asia	19.8
Eastern Asia excluding China	20.8
Southern Asia	47.5
Southern Asia excluding India	53.5
South-Eastern Asia	7.7
Western Asia	54.5
Oceania	0.06
Caucasus and Central Asia	49.6
Developed regions	7.2
Least developed countries	4.1
Landlocked developing countries	11.2
Small island developing States	1.7

Note: The latest available update was in July 2013.

^a Defined as surface water and groundwater withdrawal as a percentage of total actual renewable water resources.

Target 7.B**Reduce biodiversity loss, achieving, by 2010, a significant reduction in the rate of loss**

Indicator 7.6

Proportion of terrestrial and marine areas protected**(a) Terrestrial and marine^{a,b,c}**

(Percentage of total territorial area and sea areas under national jurisdiction (0-200 nautical miles))

	<i>1990</i>	<i>2000</i>	<i>2014</i>
World ^d	4.9	6.7	11.7
Developing regions	4.4	6.1	10.0
Northern Africa	2.2	2.8	6.3
Sub-Saharan Africa	7.1	7.6	11.1

	1990	2000	2014
Latin America and the Caribbean	4.9	8.0	13.3
Caribbean	0.9	2.1	2.9
Latin America	5.2	8.5	14.0
Eastern Asia	10.8	13.4	15.1
Eastern Asia excluding China	3.4	9.7	12.7
Southern Asia	3.3	3.8	4.2
Southern Asia excluding India	3.9	4.6	5.3
South-Eastern Asia	2.8	4.4	6.0
Western Asia	2.6	11.0	11.3
Oceania	0.1	0.1	7.4
Caucasus and Central Asia	2.7	3.5	4.5
Developed regions	6.0	8.3	13.4
Least developed countries	5.8	6.3	8.1
Landlocked developing countries	8.7	11.2	14.3
Small island developing States	0.2	0.4	1.7

(b) Terrestrial^{a,b}

(Percentage of total surface area)

	1990	2000	2014
World ^d	8.7	11.8	15.2
Developing regions	8.4	11.4	15.6
Northern Africa	2.7	3.4	7.7
Sub-Saharan Africa	10.5	11.3	15.3
Latin America and the Caribbean	8.8	14.4	23.4
Caribbean	8.3	9.3	13.9
Latin America	8.8	14.4	23.3
Eastern Asia	12.0	14.9	16.8
Eastern Asia excluding China	4.1	11.9	15.7
Southern Asia	5.4	6.1	6.8
Southern Asia excluding India	5.9	7.0	8.1
South-Eastern Asia	8.4	12.6	14.0
Western Asia	3.7	15.2	15.4
Oceania	2.0	3.2	5.0
Caucasus and Central Asia	2.7	3.5	4.6
Developed regions	9.1	12.2	14.4
Least developed countries	9.4	10.1	12.9
Landlocked developing countries	8.7	11.2	14.3
Small island developing States	3.5	6.2	8.4

(c) Marine^{a,b,c}

(Percentage of total territorial waters)

	1990	2000	2014
World ^d	1.2	1.9	8.4
Developing regions	0.3	0.6	4.2
Northern Africa	0.1	0.5	0.9
Sub-Saharan Africa	0.1	0.2	2.6
Latin America and the Caribbean	0.9	1.6	3.1
Caribbean	0.2	1.3	1.7
Latin America	1.1	1.6	3.3
Eastern Asia	0.3	0.5	0.9
Eastern Asia excluding China	0.6	0.6	0.8
Southern Asia	0.1	0.2	0.2
Southern Asia excluding India	0.1	0.2	0.3
South-Eastern Asia	0.2	0.6	2.3
Western Asia	0.0	0.4	0.8
Oceania	0.0	0.1	7.4
Caucasus and Central Asia	0.0	0.7	0.7
Developed regions	2.7	4.2	12.4
Least developed countries	0.1	0.2	0.5
Landlocked developing countries ^e	0.0	0.0	0.0
Small island developing States	0.0	0.2	1.5

^a Differences in figures when compared with the statistical annex of previous Millennium Development Goals reports are due to new available data, revised methodologies and revised regional groupings.

^b Protected areas whose year of establishment is unknown are included in all years.

^c Marine areas include marine protected areas in sea areas under national jurisdiction (0-200 nautical miles).

^d Including territories that are not considered in the calculations of developed and developing region aggregates.

^e Excluding territorial water claims within inland seas by some landlocked developing countries.

Indicator 7.7**Proportion of species threatened with extinction^a**

(Percentage of species not expected to become extinct in the near future)

	1988	1990	2000	2012
World	92.1	92.1	91.7	91.3
Developing regions	92.4	92.4	92.1	91.7
Northern Africa	98.0	98.0	97.5	96.9
Sub-Saharan Africa	93.6	93.6	93.4	93.3
Latin America and the Caribbean	93.0	93.0	92.9	92.1
Eastern Asia	96.1	96.1	95.9	95.6

	1988	1990	2000	2012
Southern Asia	95.8	95.8	95.5	95.2
South-Eastern Asia	93.2	93.2	92.4	92.4
Western Asia	97.8	97.7	97.3	96.8
Oceania	91.6	91.6	91.3	91.2
Caucasus and Central Asia	98.1	98.1	97.7	97.1
Developed regions	93.9	93.9	93.6	93.1

^a Red List Index of species survival for vertebrates (mammals, birds and amphibians). The Red List Index is an index of the proportion of species expected to remain extant in the near future without additional conservation action, ranging from 1.0 (equivalent to all species being categorized as “of least concern” on the International Union for Conservation of Nature Red List) to zero (equivalent to all species having become extinct).

Target 7.C

Halve, by 2015, the proportion of people without sustainable access to safe drinking water and basic sanitation

Indicator 7.8

Proportion of population using an improved drinking water source

(Percentage)

	1990			2015		
	Total	Urban	Rural	Total	Urban	Rural
World	76	95	62	91	96	84
Developing regions	70	93	59	89	95	83
Northern Africa	87	95	80	93	95	90
Sub-Saharan Africa	48	83	34	68	87	56
Latin America and the Caribbean	85	94	63	95	97	84
Eastern Asia	68	97	56	96	98	93
Eastern Asia excluding China	96	97	92	98	99	96
Southern Asia	73	90	66	93	96	91
Southern Asia excluding India	79	93	73	89	92	86
South-Eastern Asia	72	90	63	90	95	86
Western Asia	85	95	70	95	96	90
Oceania	50	92	37	56	94	44
Caucasus and Central Asia	87	95	79	89	98	81
Developed regions	98	99	93	99	100	98

Indicator 7.9

Proportion of population using an improved sanitation facility

(Percentage)

	1990			2015		
	<i>Total</i>	<i>Urban</i>	<i>Rural</i>	<i>Total</i>	<i>Urban</i>	<i>Rural</i>
World	54	79	35	68	82	51
Developing regions	43	69	29	62	77	47
Northern Africa	71	90	54	89	92	86
Sub-Saharan Africa	24	39	18	30	40	23
Latin America and the Caribbean	67	80	36	83	88	64
Eastern Asia	50	71	41	77	87	64
Eastern Asia excluding China	—	—	—	68	82	51
Southern Asia	22	54	11	47	67	36
Southern Asia excluding India	37	66	26	65	77	57
South-Eastern Asia	48	69	38	72	81	64
Western Asia	80	94	58	94	96	89
Oceania	35	75	22	35	76	23
Caucasus and Central Asia	90	95	86	96	95	96
Developed regions	94	96	90	96	97	91

Target 7.D

By 2020, to have achieved a significant improvement in the lives of at least 100 million slum dwellers

Indicator 7.10

Proportion of urban population living in slums^a

(Percentage)

	1990	2000	2014
Developing regions	46.2	39.4	29.7
Northern Africa	34.4	20.3	11.1
Sub-Saharan Africa	70.0	65.0	55.2
Latin America and the Caribbean	33.7	29.2	20.5
Eastern Asia	43.7	37.4	25.2
Southern Asia	57.2	45.8	30.7
South-Eastern Asia	49.5	39.6	27.4
Western Asia	22.5	20.6	24.7
Oceania ^b	24.1	24.1	24.1

^a Represented by the urban population living in households with at least one of the following four characteristics: lack of access to improved drinking water; lack of access to improved sanitation; overcrowding (three or more persons per room); and dwellings made of non-durable material. Half of the urban dwellers using pit latrines are considered to be using improved sanitation.

^b Trend data are not available for Oceania.

Goal 8

Develop a global partnership for development

Target 8.A

Develop further an open, rule-based, predictable, non-discriminatory trading and financial system

Includes a commitment to good governance, development and poverty reduction — both nationally and internationally.

Target 8.B

Address the special needs of the least developed countries

Includes: tariff- and quota-free access for least developed countries' exports; enhanced programme of debt relief for heavily indebted poor countries and cancellation of official bilateral debt; and more generous official development assistance (ODA) for countries committed to poverty reduction.

Target 8.C

Address the special needs of landlocked developing countries and small island developing States (through the Programme of Action for the Sustainable Development of Small Island Developing States and the outcome of the twenty-second special session of the General Assembly)

Target 8.D

Deal comprehensively with the debt problems of developing countries through national and international measures in order to make debt sustainable in the long term

Official development assistance

Indicator 8.1

Net ODA, total and to the least developed countries, as a percentage of Organization for Economic Cooperation and Development/Development Assistance Committee (OECD/DAC) donors' gross national income

(a) Annual total assistance^a

(Billions of current United States dollars)

	1990	2000	2005	2007	2009	2011	2013	2014 ^b
All developing countries	52.8	54.0	108.3	104.9	120.6	134.7	135.1	135.2
Least developed countries	15.0	13.7	25.9	32.4	37.5	44.7	44.5	—

(b) Share of OECD/DAC donors' gross national income

(Percentage)

	1990	2002	2005	2007	2009	2011	2013	2014 ^b
All developing countries	0.32	0.22	0.32	0.27	0.31	0.31	0.30	0.29
Least developed countries	0.09	0.06	0.08	0.08	0.10	0.10	0.10	–

^a Including non-ODA debt forgiveness but excluding forgiveness of debt for military purposes.^b Preliminary data.**Indicator 8.2****Proportion of total bilateral, sector-allocable ODA of OECD/DAC donors to basic social services (basic education, primary health care, nutrition, safe water and sanitation)**

	2001	2003	2005	2007	2009	2011	2013
Percentage of bilateral, sector-allocable aid	14.0	15.7	16.0	19.9	21.2	18.8	18.0
In billions of United States dollars	3.5	5.8	8.2	12.4	17.0	14.8	14.5

Indicator 8.3**Proportion of bilateral official development assistance of OECD/DAC donors that is untied^a**

	1990	2003	2005	2007	2009	2011	2013
Percentage of aid that is untied	67.6	91.1	91.4	83.9	84.5	83.3	85.4
In billions of United States dollars	16.3	30.1	49.0	60.3	71.3	64.4	72.8

^a Excluding technical cooperation and administrative costs as well as ODA for which the tying status is not reported. The percentage of bilateral ODA, excluding technical cooperation and administrative costs, with reported tying status was 99.6 per cent in 2008. In 2011, in-donor refugee costs are also excluded from the tying status reporting.**Indicator 8.4****ODA received in landlocked developing countries as a proportion of their gross national incomes**

	1990	2003	2005	2007	2009	2012	2013
Percentage of recipients' gross national incomes	10.2	8.2	7.0	5.9	5.9	4.1	3.6
In billions of United States dollars	7.0	12.2	15.1	19.9	25.0	27.0	26.1

Indicator 8.5

ODA received in small island developing States as a proportion of their gross national incomes

	1990	2003	2005	2007	2009	2012	2013
Percentage of recipients' gross national incomes	1.9	1.5	1.8	1.8	2.1	3.3	3.0
In billions of United States dollars	2.1	1.8	2.5	3.3	4.2	4.7	4.5

Market access

Indicator 8.6

Proportion of total developed country imports (by value and excluding arms) from developing countries and least developed countries, admitted free of duty

(Percentage)

	1996	2000	2005	2010	2014
(a) Excluding arms					
Developing countries ^a	52	62	75	82	83
of which, preferential ^b	17	15	18	16	18
Northern Africa	52	57	97	98	97
Sub-Saharan Africa	78	80	93	98	98
Latin America and the Caribbean	66	75	93	95	95
Eastern Asia	35	52	62	67	71
Southern Asia	47	48	58	73	72
South-Eastern Asia	59	75	77	82	80
Western Asia	34	39	66	96	96
Oceania	85	83	89	94	96
Caucasus and Central Asia	91	84	94	98	97
Least developed countries	68	75	83	89	89
of which, preferential ^b	29	42	28	30	41
(b) Excluding arms and oil					
Developing countries ^a	54	65	75	79	79
of which, preferential ^b	19	17	21	20	21
Northern Africa	20	26	95	96	96
Sub-Saharan Africa	88	83	91	96	96
Latin America and the Caribbean	73	81	93	94	94
Eastern Asia	35	52	62	69	71
Southern Asia	41	46	58	67	72
South-Eastern Asia	60	76	77	81	79
Western Asia	35	44	87	93	91
Oceania	82	79	87	93	95
Caucasus and Central Asia	90	69	84	90	81

	1996	2000	2005	2010	2014
Least developed countries	78	70	80	80	84
of which, preferential ^b	35	35	49	54	60

^a Including least developed countries.

^b The true preference margin is calculated by subtracting from the total duty-free access all products receiving duty-free treatment under the most-favoured-nation regime. The indicators are based on the best available treatment, including regional and preferential agreements.

Indicator 8.7

Average tariffs imposed by developed countries on agricultural products and textiles and clothing from developing countries

(Percentage)

	1996	2000	2010	2014
(a) Agricultural goods				
Developing countries	10.4	9.2	7.3	8.0
Northern Africa	6.6	7.3	6.0	5.6
Sub-Saharan Africa	7.4	6.2	3.2	3.6
Latin America and the Caribbean	12.0	10.3	7.6	8.6
Eastern Asia	9.3	9.5	10.5	10.6
Southern Asia	5.4	5.3	5.5	4.2
South-Eastern Asia	11.3	10.1	9.0	10.1
Western Asia	8.2	7.5	5.3	5.3
Oceania	11.5	9.4	2.9	3.5
Caucasus and Central Asia	4.7	3.8	3.0	2.8
Least developed countries	3.8	3.6	1.0	0.9
(b) Textiles				
Developing countries	7.3	6.6	5.0	4.5
Northern Africa	8.0	7.2	3.7	3.6
Sub-Saharan Africa	3.9	3.4	2.8	2.9
Latin America and the Caribbean	4.7	3.5	1.2	1.2
Eastern Asia	7.3	6.6	5.7	5.1
Southern Asia	7.1	6.5	5.7	4.6
South-Eastern Asia	9.1	8.4	5.4	5.2
Western Asia	9.1	8.2	4.4	4.4
Oceania	5.9	5.4	4.9	5.0
Caucasus and Central Asia	7.3	6.3	5.6	5.6
Least developed countries	4.6	4.1	3.2	3.2
(c) Clothing				
Developing countries	11.5	10.8	8.0	7.7
Northern Africa	11.9	11.1	5.6	5.3
Sub-Saharan Africa	8.5	7.9	2.6	1.5
Latin America and the Caribbean	8.8	7.8	1.2	1.4
Eastern Asia	12.0	11.5	11.0	10.2

	1996	2000	2010	2014
Southern Asia	10.2	9.6	8.5	8.2
South-Eastern Asia	14.2	13.5	9.2	9.2
Western Asia	12.6	11.8	8.2	8.3
Oceania	8.8	8.3	8.8	8.8
Caucasus and Central Asia	12.9	11.8	10.7	11.0
Least developed countries	8.2	7.8	6.7	6.5

Indicator 8.8

Agricultural support estimate for OECD countries as a percentage of their gross domestic product

	1990	2003	2005	2007	2009	2011	2013
As percentage of OECD countries' GDP	2.27	0.97	0.94	0.79	0.82	0.79	0.75
In billions of United States dollars	311	312	336	314	326	342	344

Indicator 8.9

Proportion of ODA provided to help build trade capacity^a

	2001	2003	2005	2007	2009	2011	2013
Trade policy and regulations and trade-related adjustment ^b	1.0	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	1.3
Economic infrastructure	21.5	14.8	17.2	13.6	15.1	16.0	22.9
Building productive capacity	16.0	13.4	12.8	13.3	12.8	14.2	14.2
Total aid for trade	38.5	29.0	30.7	27.7	28.8	31.2	28.4

^a Worldwide aid-for-trade proxies as a percentage of bilateral sector-allocable ODA.

^b Reporting of trade-related adjustment data started in 2007. Only Canada and the European Commission reported.

Debt sustainability

Indicator 8.10

Total number of countries that have reached their heavily indebted poor countries (HIPC) decision points and number that have reached their HIPC completion points (cumulative)

	2000 ^a	2012 ^b
Reached completion point	1	35
Reached decision point but not completion point	21	1
Yet to be considered for decision point	12	3
Total eligible countries	34	39

^a Data for 2000 show the status at the end of the year.

^b Including only heavily indebted poor countries as at 2012. Data for 2012 show the status at the end of August 2013.

Indicator 8.11

Debt relief committed under heavily indebted poor countries and multilateral debt relief initiatives^a

(Billions of United States dollars, cumulative)

	2000	2012
To countries that reached decision or completion point	32	95

^a Expressed in net present value terms at the end of 2012. Commitment status as at December 2012.

Indicator 8.12

Debt service as a percentage of exports of goods and services^a

	1990	2000	2009	2010	2013
Developing regions	19.4	12.0	3.8	3.0	3.1
Northern Africa	39.8	15.3	4.8	4.4	3.8
Sub-Saharan Africa	17.5	9.2	3.4	2.4	3.6
Latin America and the Caribbean	20.6	20.8	8.0	6.7	6.4
Caribbean	16.9	8.0	17.9	11.2	11.5
Latin America	20.7	21.3	7.8	6.6	6.3
Eastern Asia	10.6	4.9	0.6	0.6	0.4
Eastern Asia excluding China	–	6.5	4.1	4.3	4.5
Southern Asia	17.6	13.8	3.2	2.6	3.7
Southern Asia excluding India	9.3	11.5	4.5	4.5	5.4
South-Eastern Asia	16.9	6.5	4.1	3.1	2.3
Western Asia	27.8	16.1	8.7	8.0	5.7
Oceania	14.0	6.0	1.9	1.5	2.0
Caucasus and Central Asia	–	8.6	1.1	1.1	2.1
Least developed countries	17.5	11.6	4.9	3.3	5.0
Landlocked developing countries	14.3	8.9	1.9	1.6	2.3
Small island developing States	13.9	8.7	10.1	6.0	7.5

^a Including countries reporting to the World Bank Debtor Reporting System. Aggregates are based on available data and for some years might exclude countries that do not have data on exports of goods and services and net income from abroad.

Target 8.E**In cooperation with pharmaceutical companies, provide access to affordable, essential drugs in developing countries**

Indicator 8.13

Proportion of population with access to affordable essential drugs on a sustainable basis

No global or regional data are available.

Target 8.F**In cooperation with the private sector, make available the benefits of new technologies, especially information and communications**

Indicator 8.14

Fixed-telephone subscriptions per 100 inhabitants

	1995	2000	2013
World	12.0	16.0	16.0
Developing regions	4.1	7.9	10.6
Northern Africa	4.5	7.2	8.6
Sub-Saharan Africa	1.1	1.4	1.1
Latin America and the Caribbean	9.0	14.5	18.1
Caribbean	9.0	11.3	10.5
Latin America	9.0	14.8	18.7
Eastern Asia	5.4	13.6	21.4
Eastern Asia excluding China	33.0	43.1	49.0
Southern Asia	1.5	3.2	4.0
Southern Asia excluding India	2.2	3.5	8.2
South-Eastern Asia	2.9	4.8	9.3
Western Asia	13.2	17.2	14.2
Oceania	4.7	5.2	5.2
Caucasus and Central Asia	9.0	8.9	14.1
Developed regions	42.8	49.2	40.9
Least developed countries	0.3	0.5	1.0
Landlocked developing countries	2.7	2.8	3.8
Small island developing States	10.3	13.0	11.7

Indicator 8.15

Mobile-cellular subscriptions per 100 inhabitants

	1995	2000	2013
World	1.6	12.1	93.1
Developing regions	0.4	5.4	87.7
Northern Africa	<0.1	2.8	119.3
Sub-Saharan Africa	0.1	1.7	65.9
Latin America and the Caribbean	0.8	12.1	114.8
Caribbean	1.2	7.5	67.6
Latin America	0.8	12.5	118.2
Eastern Asia	0.5	9.8	89.6
Eastern Asia excluding China	3.4	50.2	101.0
Southern Asia	<0.1	0.4	72.1
Southern Asia excluding India	<0.1	0.5	75.3
South-Eastern Asia	0.7	4.2	115.4
Western Asia	0.6	13.1	106.9
Oceania	0.2	2.4	50.4
Caucasus and Central Asia	<0.1	1.3	111.9
Developed regions	6.4	39.8	118.3

	1995	2000	2013
Least developed countries	<0.1 ^a	0.3	56.2
Landlocked developing countries	<0.1	1.1	65.2
Small island developing States	1.5	11.0	74.8

^a 1996 data.

Indicator 8.16

Internet users per 100 inhabitants

	1995	2000	2013
World	0.8	6.6	38.0
Developing regions	0.1	2.1	29.9
Northern Africa	<0.1	0.7	41.7
Sub-Saharan Africa	0.1	0.5	16.9
Latin America and the Caribbean	0.1	3.9	46.7
Caribbean	0.1	2.9	34.7
Latin America	0.1	4.0	47.6
Eastern Asia	0.1	3.7	47.0
Eastern Asia excluding China	1.1	28.6	61.7
Southern Asia	<0.1	0.5	14.5
Southern Asia excluding India	<0.1 ^a	0.3	13.1
South-Eastern Asia	0.1	2.4	26.2
Western Asia	0.1	3.1	41.2
Oceania	0.1	1.8	14.0
Caucasus and Central Asia	–	0.5	39.2
Developed regions	3.2	25.1	76.1
Least developed countries	<0.1 ^b	0.1	7.0
Landlocked developing countries	<0.1 ^a	0.3	14.6
Small island developing States	0.4	5.2	33.0

^a 1996 data.

^b 1998 data.

Sources: Inter-agency and Expert Group on Millennium Development Goal Indicators and Millennium Development Goal Indicators website (<http://mdgs.un.org>).

Notes: Except where indicated, regional groupings are based on United Nations geographical regions, with some modifications necessary to create, to the extent possible, homogeneous groups of countries for analysis and presentation. The regional composition adopted for the 2014 reporting on Millennium Development Goal indicators is available at <http://mdgs.un.org>, under “Data / Regional groupings”.

Where shown, the expression “developed regions” comprises Europe (except the Commonwealth of Independent States), Australia, Canada, Japan, New Zealand and the United States. The expression always includes transition countries in Europe.

For some Millennium Development Goal indicators, data are presented separately for smaller subregions in Africa, based on the classification adopted by the Economic Commission for Africa.

